

2021年度第1四半期決算説明資料

2021年8月6日

SOMPOホールディングス株式会社



業績ハイライト（2021年度第1四半期）	2
KPIアップデート	3
1. 連結業績	
2021年度第1四半期決算概況（連結）	5
決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）	6
決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）	7
決算のポイント③ 連結経常利益	8
決算のポイント④ 連結純利益	9
（参考）2021年度通期業績予想（連結）	10
（参考）2021年度通期業績予想のポイント	11
（参考）通期業績予想（連結経常利益）のブレイクダウン	12
（参考）過去の業績進捗状況	13
（参考）経営数値目標等	14
2. 国内損保事業	
2021年度第1四半期決算概況（損保ジャパン）	16
正味収入保険料	17
正味損害率（アード・インカード）	18
（参考）正味損害率（リトン・ペイド）	19
正味事業費率	20
コンバインド・レシオ	21
資産運用損益	22
（参考）資産運用粗利益の内訳	23
（参考）2021年度通期業績予想（損保ジャパン）	24
（参考）自動車保険関連の指標	25
（参考）国内自然災害	26
（参考）責任準備金・支払備金	27

3. 海外保険事業	
業績概況（海外保険事業）	29
（参考）地域別業績	30
（参考）SI※1業績概況①	31
（参考）SI業績概況②	32
4. 国内生保事業	
業績概況（ひまわり生命）	34
当期純利益（ひまわり生命）	35
修正利益・修正純資産（ひまわり生命）	36
5. 介護・シニア事業	
業績概況（介護・シニア事業）	38
SOMPOケアの主要指標	39
6. ERM・資産運用	
財務健全性：ESR（99.5%VaR）	41
（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	42
資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）	43
資産ポートフォリオ（損保ジャパン）	44
資産ポートフォリオ（SI）	45
資産ポートフォリオ（ひまわり生命）	46

為替レート（米ドル/円）		
2021年度 第1四半期	110.58円（対前年：+2.6%）	2021年6月末
	- 海外※2 110.71円（対前年：+1.7%）	2021年3月末
2021年度 通期業績予想	110.71円	2021年3月末

※1 SIはSompoインターナショナルの企業部門を指す（以下同様）
 ※2 海外保険事業

業績ハイライト（2021年度第1四半期）

- SIのレートアップを中心とするトップライン増を主因に、正味収入保険料は+524億円増収の8,725億円
- 損保ジャパンの資産運用で、ファンド解約などに伴う利配が増加したことや、SIのトップライン増に伴い保険引受利益が増加したことなどを主因に、連結経常利益、連結純利益ともに対前年で増益
- 修正連結利益は対前年 + 174億円増の887億円

損保ジャパン

- 前年度の自動車保険のE/I損害率低下の反動を主因に、保険引受利益は△33億円減益
※自動車保険のE/I損害率は対前年 + 5.8pt上昇（2019年度第1四半期対比では△9.3pt低下）、
事故受付件数は対前年 + 11.0%増加（2019年度第1四半期対比では△14.9%減少）
- ファンド解約などに伴うネット利配増加を主因に、資産運用粗利益は + 84億円増益
- 経常利益・当期純利益ともに増益

海外保険事業

- SIにおいて、レートアップを中心とした増収に加え、2020年12月に買収を完了したDiversified社の統合効果もあり、トップラインは順調に拡大
- テキサス寒波の影響はあるも、増収効果や経費コントロールなどにより、SIのコンバインド・レシオは同業他社比優位
- 海外保険事業の修正利益は、対前年 + 78億円増の171億円

ひまわり生命

- Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大
- 超長期債を739億円投入（30年債換算）、計画的に金利リスクの削減を継続

介護・シニア

- 一過性要因の剥落影響に加え、ベースの入居率は改善傾向

- 各事業の取組みは概ね順調に推移

国内 損保	2021年度第1四半期	2021年度予想	2023年度計画	海外 保険	2021年度第1四半期	2021年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	608億円	1,050億円	1,500億円以上	事業別修正利益	171億円	600億円	1,000億円以上
正味収入保険料※1	5,058億円	19,293億円	20,000億円	グロス保険料 成長率※5	+39.7%	+10.2%	年率+9%程度
E/I コンバインド・レシオ※1	88.1%	94.8%	91.7%	E/I コンバインド・レシオ※5	94.2%	91.7%	88%台
政策株式削減	75億円※2	500億円	500億円 (3年間累計：1,500億円)				
国内 生保	2021年度第1四半期	2021年度予想	2023年度計画	介護・ シニア	2021年度第1四半期	2021年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	94億円	325億円	400億円以上	事業別修正利益	10億円	65億円	80億円以上
新契約 年換算保険料※3	73億円	430億円	500億円	売上高	334億円	1,375億円	1,620億円
保有契約件数	428万件	443万件	500万件	入居率	89.6%	90.8%※6	93.8%※6
ALM資産投入額※4	739億円	3,000億円	3,000億円 (3年間累計：9,000億円)				

新たな顧客価値の創造

2021年度第1四半期

介護：予兆把握・生産性向上モデルの自社施設への試行展開を拡大
モビリティ：Wejo社へ戦略的投資の実行

2023年度計画

RDP活用商品・サービスの外販・収益化

2事業以上

中長期目標

RDP活用によって創出するグループの売上高

5,000億円超

※1 損保ジャパン（除く自賠責・家計地震） ※2 先物を含む ※3 営業成績ベース ※4 30年債換算 ※5 SI Commercial ※6 年度末時点

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

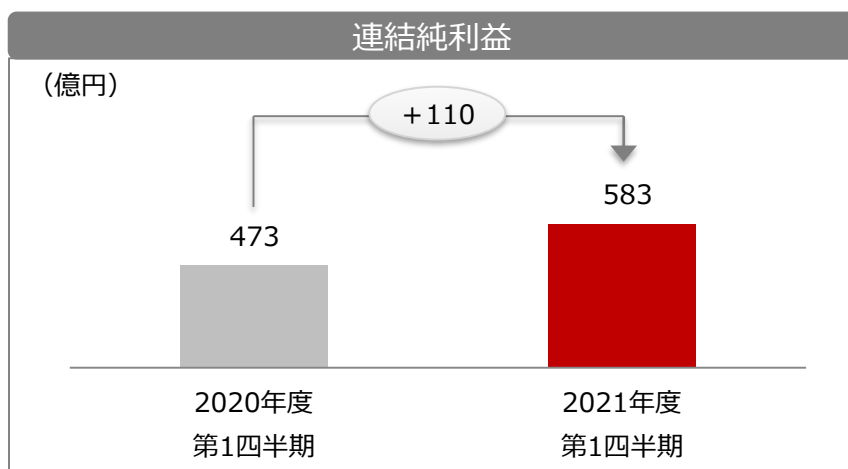
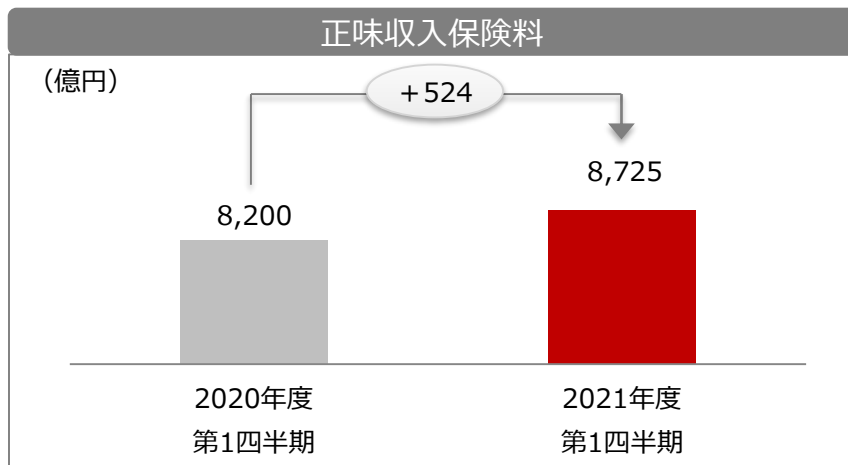
4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2021年度第1四半期決算概況（連結）

- SIに加え、損保ジャパンも火災保険を中心に着実に増収したことなどにより、正味収入保険料は+524億円の増収
- SIおよび損保ジャパンの増益を主因に、連結経常利益・連結純利益ともに増益



(単位：億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減	2021年度 通期予想
連結経常収益	10,390	10,814	+423 (+4.1%)	-
正味収入保険料	8,200	8,725	+524 (+6.4%)	30,900
生命保険料	808	755	△52 (△6.5%)	3,580
連結経常利益	682	783	+101	1,850
損保ジャパン	576	614	+38	1,745
海外グループ会社	△164	39	+203	723
ひまわり生命	73	73	+0	172
SOMPOケア	26	16	△9	86
その他・連結調整等※1	170	38	△131	△877
連結純利益※2	473	583	+110	1,250
損保ジャパン	415	467	+51	1,330
海外グループ会社	△155	32	+187	579
ひまわり生命	51	50	△0	116
SOMPOケア	5	10	+4	51
その他・連結調整等	155	21	△133	△826
(参考) 修正連結利益	712	887	+174	2,050
国内損保事業	538	608	+69	1,050
海外保険事業	92	171	+78	600
国内生保事業	79	94	+15	325
介護・シニア事業	2	10	+8	65
デジタル事業等	-	2	+2	10

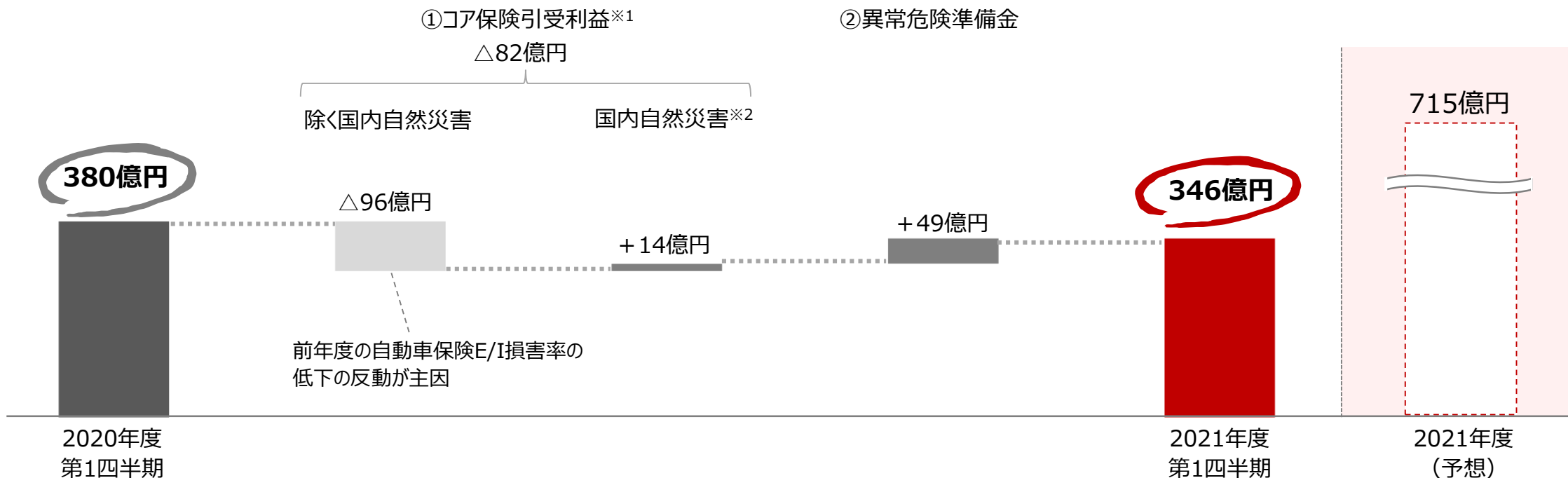
※1 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※2 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）

決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）

- 保険引受利益は前年度の自動車保険E/I損害率の低下の反動を主因に、△33億円減益の346億円

保険引受利益（損保ジャパン）の増減要因



	①コア保険引受利益			②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2020年度第1四半期	606億円	621億円	△15億円	△226億円	380億円
2021年度第1四半期	523億円	524億円	△0億円	△177億円	346億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 国内自然災害は、当年度発生 of 正味支払保険金を集計

決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）

- 資産運用粗利益はファンド解約などに伴うネット利配増加を主因に、+84億円増益の336億円

資産運用粗利益（損保ジャパン）の増減要因

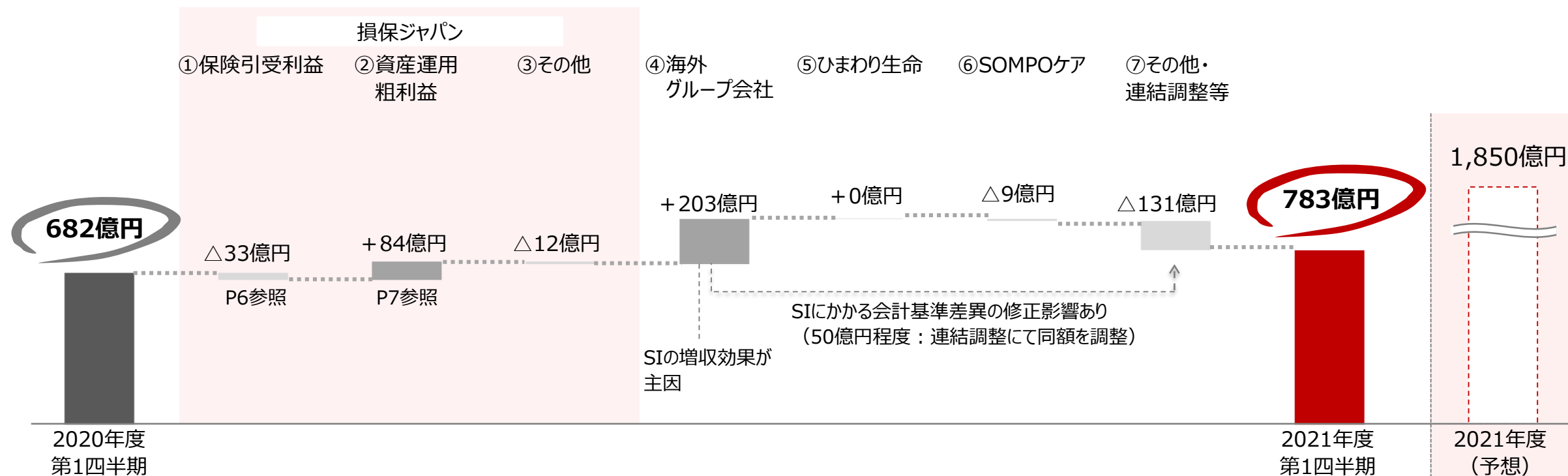


	①ネット利息及び配当金収入	②有価証券売却損益	③有価証券評価損	④為替差損益	⑤その他	資産運用粗利益
2020年度第1四半期	197億円	75億円	△11億円	△5億円	△3億円	252億円
2021年度第1四半期	313億円	15億円	△20億円	13億円	15億円	336億円

決算のポイント③ 連結経常利益

- SIの増益を主因に、連結経常利益は+101億円の増益

連結経常利益の増減要因



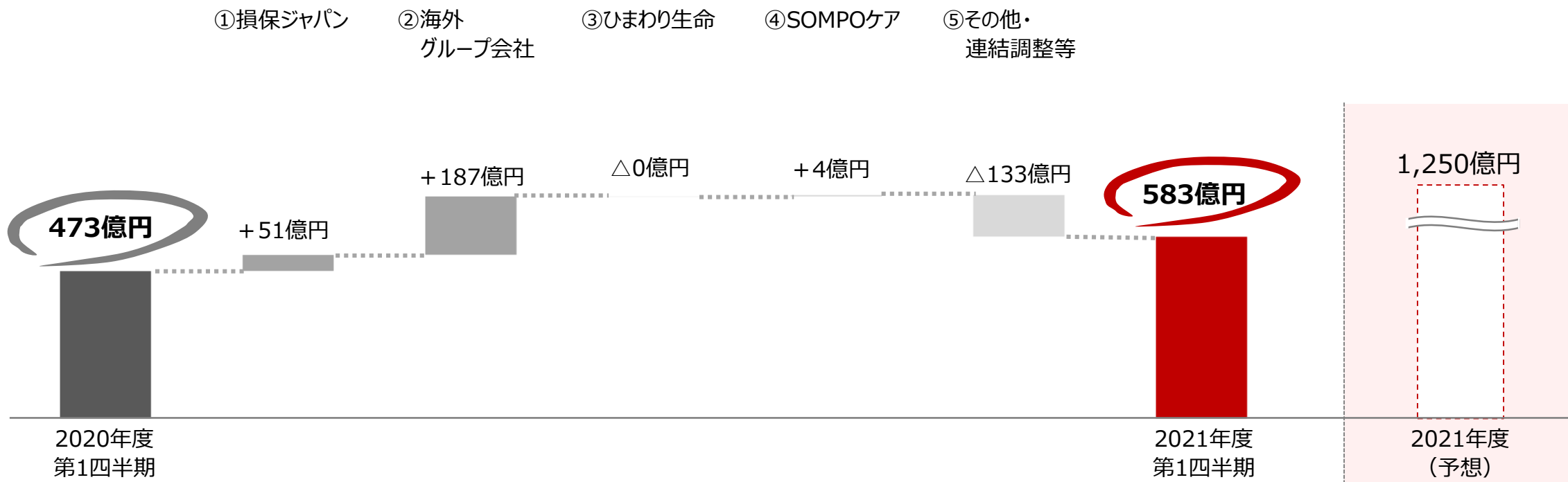
	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥SOMPOケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2020年度第1四半期	380億円	252億円	△55億円	△164億円	73億円	26億円	170億円	682億円
2021年度第1四半期	346億円	336億円	△68億円	39億円	73億円	16億円	38億円*	783億円

※ 2021年度第1四半期のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額(税前)は63億円

決算のポイント④ 連結純利益

- 連結純利益は583億円（通期業績予想に対する進捗率：47%）

連結純利益の増減要因



	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④SOMPOケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2020年度第1四半期	415億円	△155億円	51億円	5億円	155億円	473億円
2021年度第1四半期	467億円	32億円	50億円	10億円	21億円	583億円

(参考) 2021年度通期業績予想 (連結)

2021年5月20日
公表数値から修正なし

(単位：億円)	2020年度 (実績)	2021年度 (予想)	増減
正味収入保険料	29,235	30,900	+1,664
生命保険料	3,461	3,580	+118
連結経常利益	2,150	1,850	△300
損保ジャパン	1,974	1,745	△229
海外グループ会社	522	723	+200
ひまわり生命	289	172	△116
SOMPOケア	87	86	△1
その他・連結調整等	△723	△877	△154
連結純利益	1,424	1,250	△174
損保ジャパン	1,469	1,330	△139
海外グループ会社	358	579	+221
ひまわり生命	200	116	△84
SOMPOケア	53	51	△1
その他・連結調整等	△656	△826	△169
(参考) 修正連結利益	2,021	2,050	+28
国内損保事業	1,301	1,050	△251
海外保険事業	300	600	+299
国内生保事業	338	325	△13
介護・シニア事業	81	65	△16
デジタル事業等	-	10	+10

(参考) 2021年度通期業績予想のポイント2021年5月20日
公表数値から修正なし

- 新型コロナ影響の一定の剥落と自然災害の平常化を織り込み、連結純利益は△174億円減益の1,250億円を見込む
- 株主還元のため原資となる修正連結利益は、2年連続過去最高益となる2,050億円を見込む

損保ジャパン

- 新型コロナ影響による損害率低下は一定の剥落を想定する一方で、自然災害は平常化を見込み、保険引受利益は+51億円の増益を見込む
- 前年度のファンド解約益の剥落等を主因に、資産運用粗利益は△256億円の減益を見込む
- 政策株式は500億円程度の削減を計画

海外保険事業

- SIではレートアップや保有比率の引き上げ等により、既経過保険料は+1,673億円増収を見込む
- 新型コロナ等の一過性要因の剥落に加え、規律あるアンダーライティングにより、SIの損害率は△6.7pt改善を見込む
- 海外事業全体の修正利益は+299億円の増益を見込む

ひまわり生命

- 収益性の高い保障性商品の保有拡大を継続する一方、成長投資に伴う事業費増を見込む
- 新契約拡大に伴う事業費および責任準備金繰入増等により、当期純利益は△84億円の減益を見込む

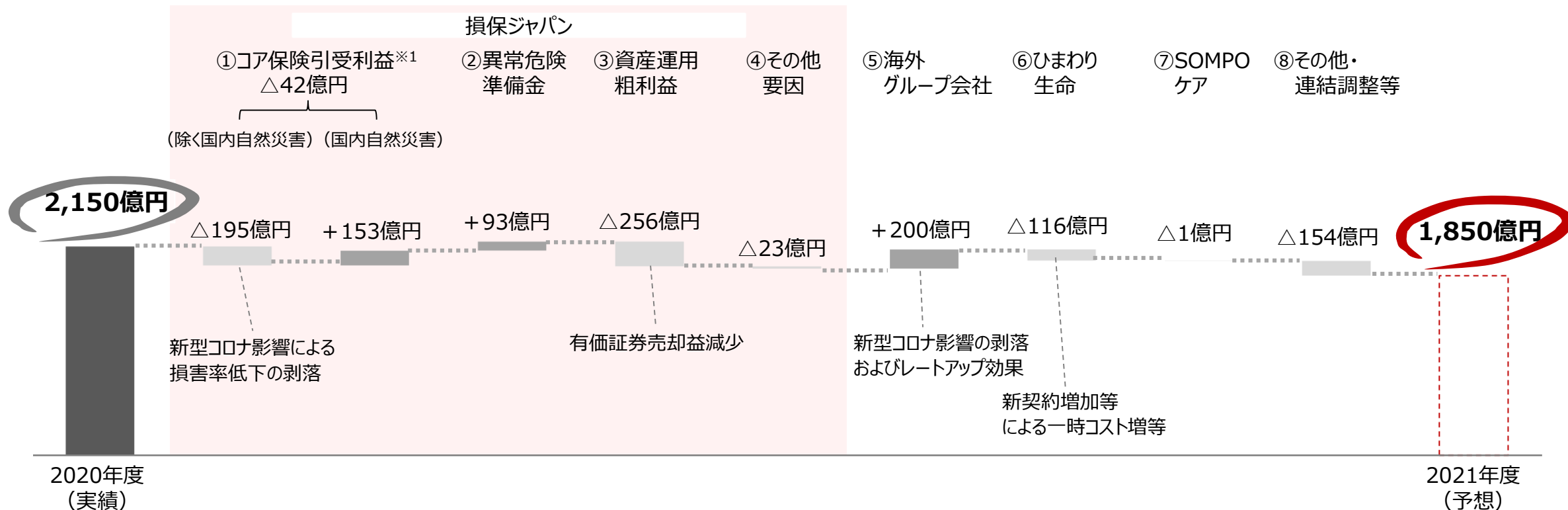
介護・シニア

- 一過性の税効果剥落により減益を見込むも、1.4ptの入居率改善（89.4%→90.8%）を見込む

(参考) 通期業績予想 (連結経常利益) のブレイクダウン

2021年5月20日
公表数値から修正なし

連結経常利益の主要構成要素



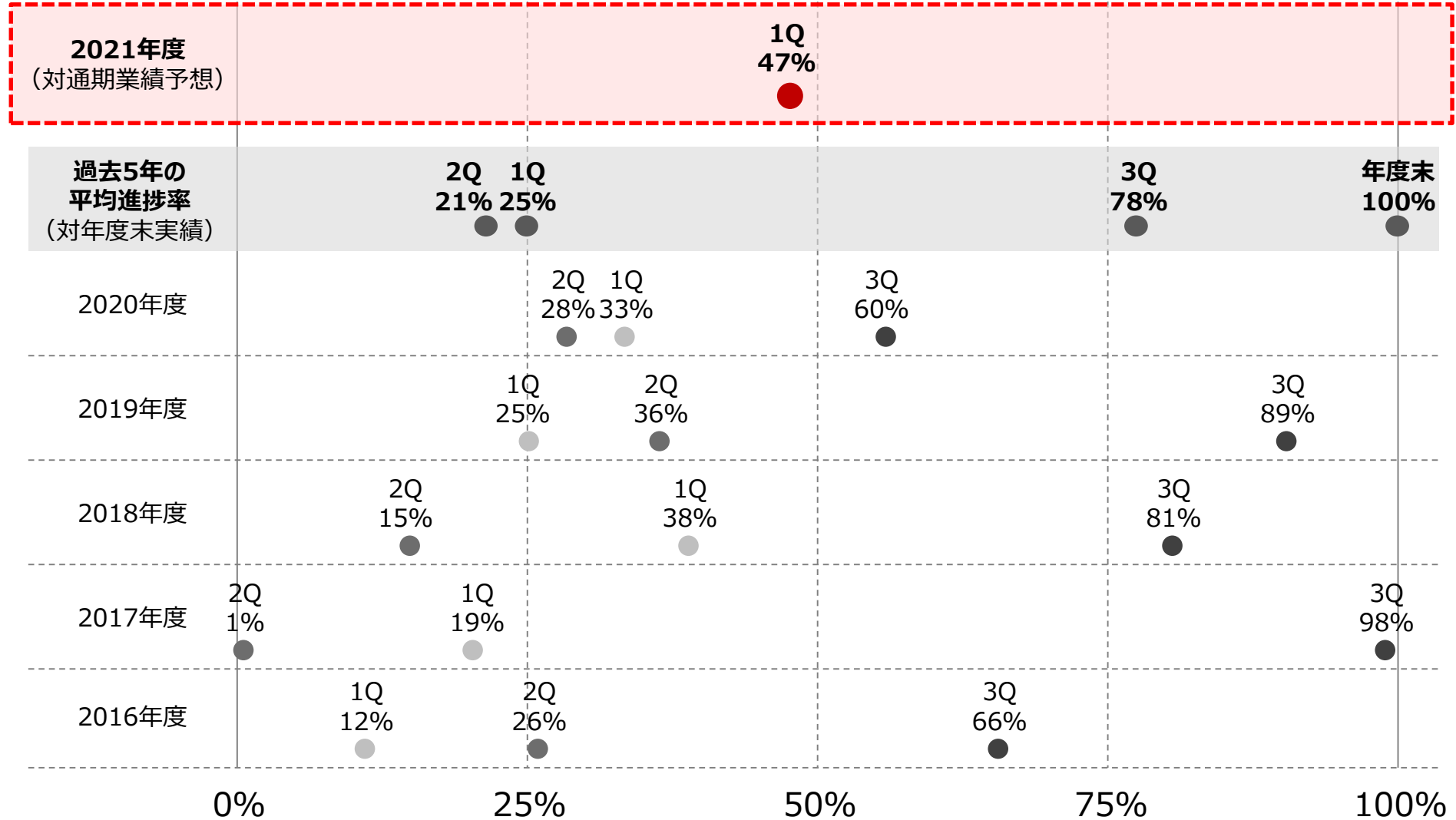
	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦SOMPO ケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2020年度実績	2,017億円	△993億円	△361億円	1,464億円	△153億円	522億円	289億円	87億円	△723億円	2,150億円
2021年度予想	1,822億円	△840億円	△267億円	1,207億円	△177億円	723億円	172億円	86億円	△877億円※2	1,850億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2021年度予想における正味償却対象額は255億円の見込み

(参考) 過去の業績進捗状況

四半期の進捗率 (連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

計画数値

(単位：億円)	2021年度第1四半期		2021年度通期		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(予想)	(事業別ROE) ※5	(計画) ※6	(事業別ROE)
国内損保事業	608	+69	1,050	8.0%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	171	+78	600	7.9%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	94	+15	325	4.3%	400以上	5.7%
介護・シニア事業※3	10	+8	65	11.5%	80以上	14.3%
デジタル事業等	2	+2	10	-	20以上	-
合計(修正連結利益)	887	+174	2,050	-	3,000以上	-
修正連結ROE※4	-	-	7.4%	-	10%以上	-
ROE (J-GAAPベース)	-	-	6.2%	-	-	-

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く。

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 2020年度は介護・ヘルスケア事業等。修正利益 = 当期純利益 (一過性の損益を除く)

※4 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※5 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

※6 2023年度の修正連結利益 (計画) は、オーガニック成長を前提とした計画値。想定以上の自然災害影響などによる下振れリスク (△300億円) に対し、M&A実行によって利益上乘せ (+300億円) を図ることで、計画の達成確度を高める

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益

- + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

海外保険事業

Operating Income※2

なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

国内生保事業

当期純利益

- + 危険準備金繰入額 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- + 責任準備金補正 (税引後)
- + 新契約費繰延 (税引後)
- 新契約費償却 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

介護・シニア事業

ヘルスケア事業等

当期純利益

デジタル事業

当期純利益

- 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2021年度第1四半期決算概況（損保ジャパン）

- 資産運用粗利益の増加を主因に、当期純利益は+51億円増益の467億円

(単位：億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減	2021年度 (予想)
正味収入保険料	5,513	5,605	+91 (+1.7%)	21,600
（除く自賠責・家計地震）	4,896	5,058	+162 (+3.3%)	19,293
既経過保険料（除く自賠責・家計地震）	4,599	4,724	+125 (+2.7%)	19,262
E/I損害率（除く自賠責・家計地震）	52.1%	54.2%	+2.1pt	59.8%
正味損害率	54.5%	56.5%	+2.0pt	64.6%
（除く自賠責・家計地震）	51.4%	53.7%	+2.4pt	61.0%
正味事業費率	32.9%	33.6%	+0.7pt	34.3%
（除く自賠責・家計地震）	33.8%	33.9%	+0.1pt	35.0%
コンバインド・レシオ（E/I）※1（除く自賠責・家計地震）	85.9%	88.1%	+2.2pt	94.8%
（参考）コンバインド・レシオ（W/P）（除く自賠責・家計地震）	85.1%	87.6%	+2.5pt	96.0%
保険引受利益	380	346	△33	715
資産運用粗利益	252	336	+84	1,207
経常利益	576	614	+38	1,745
当期純利益	415	467	+51	1,330
(参考)				
異常危険準備金繰入額等（税引後）	+163	+128	△35	+195
価格変動準備金繰入額（税引後）	+7	+7	+0	+29
有価証券売却損益・評価損（税引後）	△44	+7	+51	△200
特殊要因（税引後）※2	△7	△1	+6	△281
修正利益	534	609	+74	1,073

※1 E/I損害率 + 正味事業費率（以下同様）

※2 株式先物関連損益等

正味収入保険料

- 火災保険、新種保険の増収がトップライン増収を牽引

正味収入保険料

(単位：億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減		2021年度 (予想)
火災	604	686	+81	(+13.5%)	3,094
海上	107	115	+8	(+7.8%)	425
傷害	470	472	+2	(+0.4%)	1,588
自動車	2,766	2,775	+9	(+0.3%)	10,965
自賠責	615	545	△70	(△11.4%)	2,303
その他	947	1,008	+60	(+6.4%)	3,222
うち賠償責任	543	564	+21	(+3.9%)	1,582
合計	5,513	5,605	+91	(+1.7%)	21,600
合計（除く自賠責・家計地震）	4,896	5,058	+162	(+3.3%)	19,293

(主な増減要因)

火災：商品改定による料率適正化、企業分野の増収などにより増収

自動車：料率適正化などにより増収

その他：主力商品の「ビジネスマスター・プラス」は引き続き好調

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
前年同期比（2021年4月～6月）

(営業成績保険料ベース)

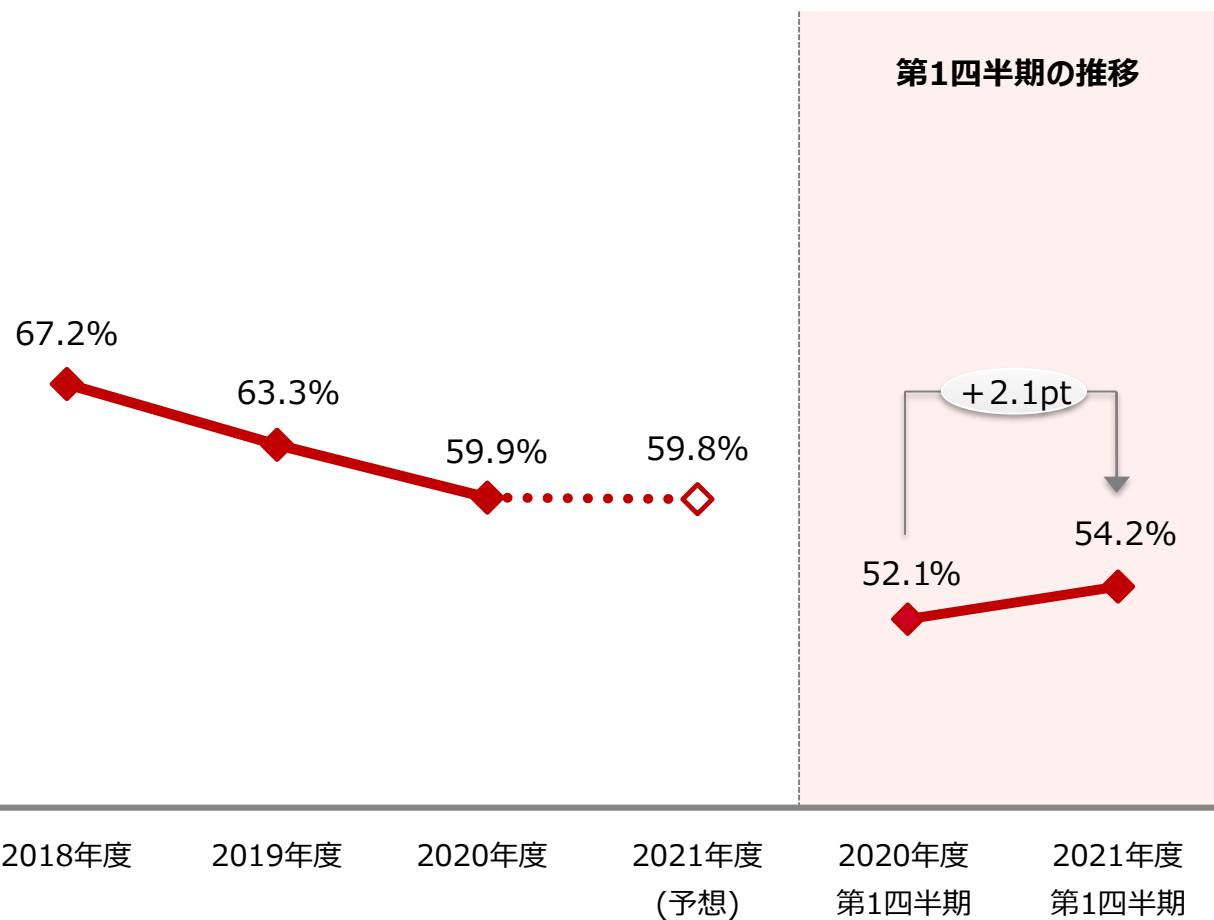
	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△1.0%	+1.0%	△0.0%
フリート	△0.9%	△0.5%	△1.3%
合計	△1.0%	+0.8%	△0.2%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ！を除く

正味損害率（アード・インカード）

- 前年度の交通量減少の反動を主因に事故率が増加するも、概ね計画どおり進捗

E/I損害率（除く自賠償・家計地震）

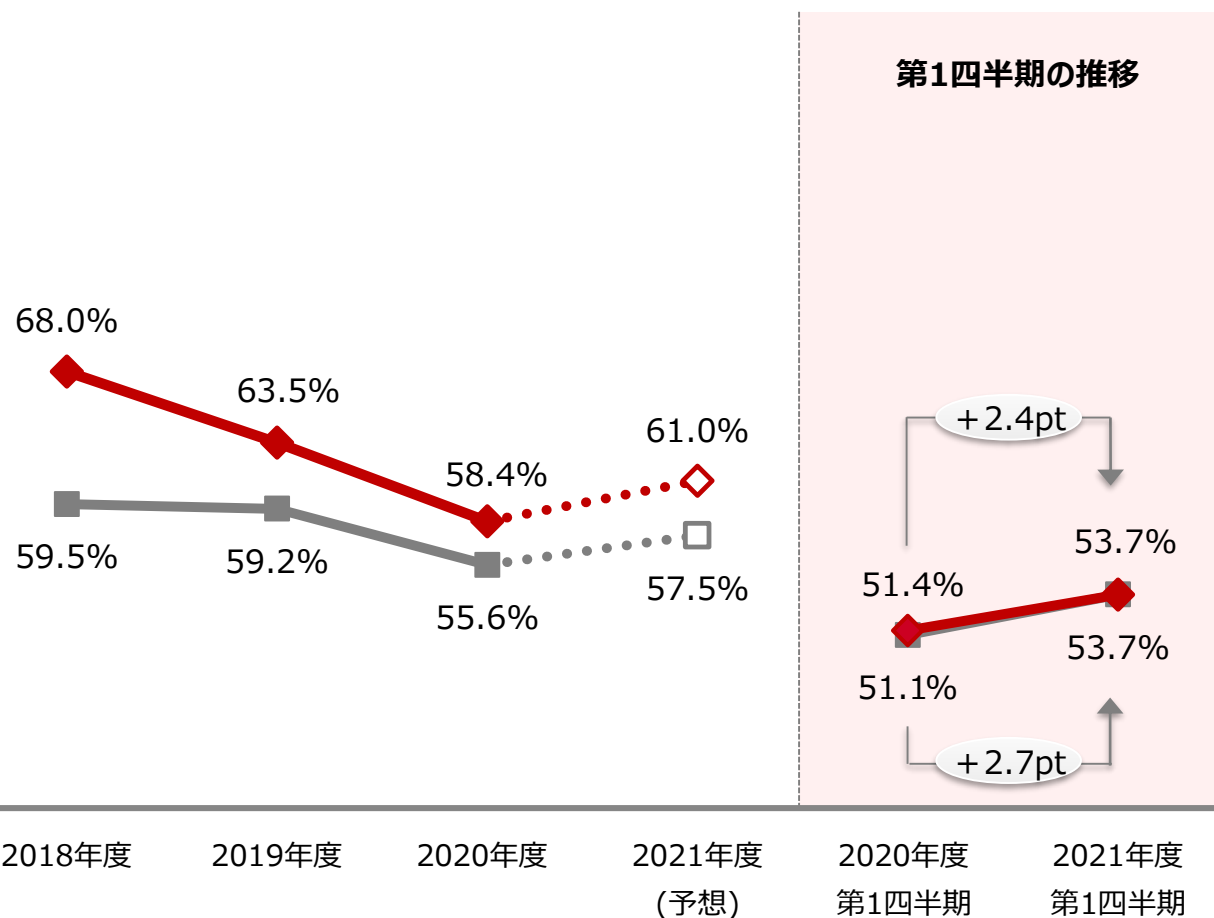


(参考) 種目別E/I損害率

	2021年度 第1四半期		2021年度 (予想) 損害率
	損害率	増減	
火災（除く家計地震）	50.3%	△2.5pt	69.8%
海上	68.1%	+7.2pt	63.4%
傷害	51.8%	△3.2pt	52.7%
自動車	53.9%	+5.8pt	57.6%
その他	58.4%	△5.0pt	60.3%
合計 (除く自賠償・家計地震)	54.2%	+2.1pt	59.8%



(参考) 正味損害率 (リトン・ペイド)

正味損害率



(参考) 種目別W/P損害率

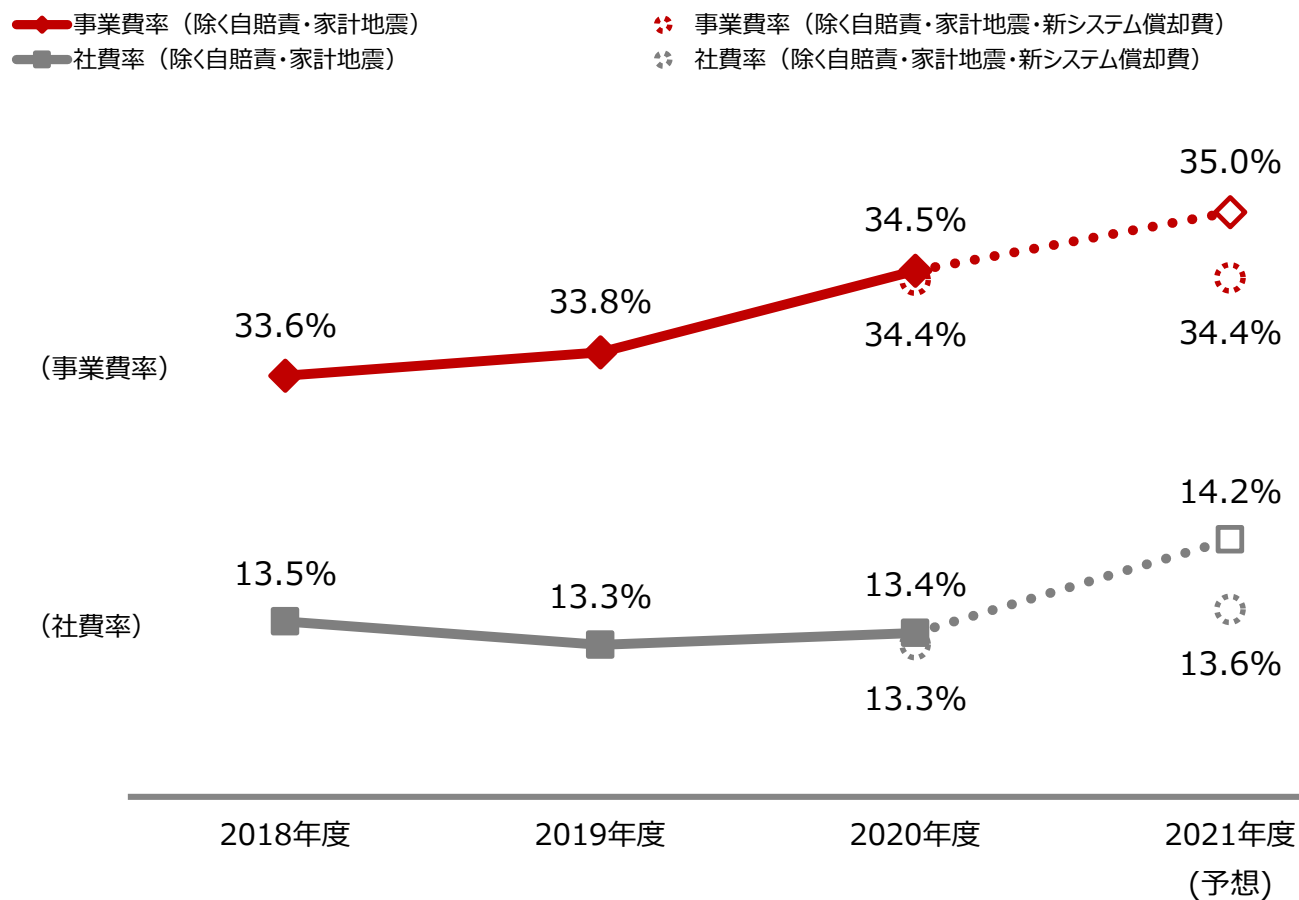
	2021年度 第1四半期		2021年度 (予想)
	損害率	増減	損害率
火災 (除く家計地震)	84.6%	+7.8pt	78.9%
海上	44.0%	△13.0pt	63.9%
傷害	39.9%	+1.9pt	47.5%
自動車	53.1%	+2.8pt	58.2%
その他	42.0%	△2.3pt	59.4%
合計 (除く自賠償・家計地震)	53.7%	+2.4pt	61.0%

 損害率 (除く自賠償・家計地震)
 (参考) 損害率 (除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

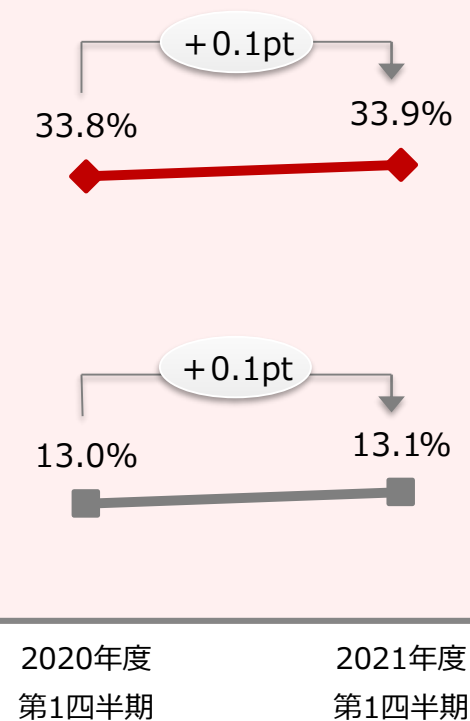
正味事業費率

- 事業費率は計画対比で良好に推移

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移



第1四半期の推移



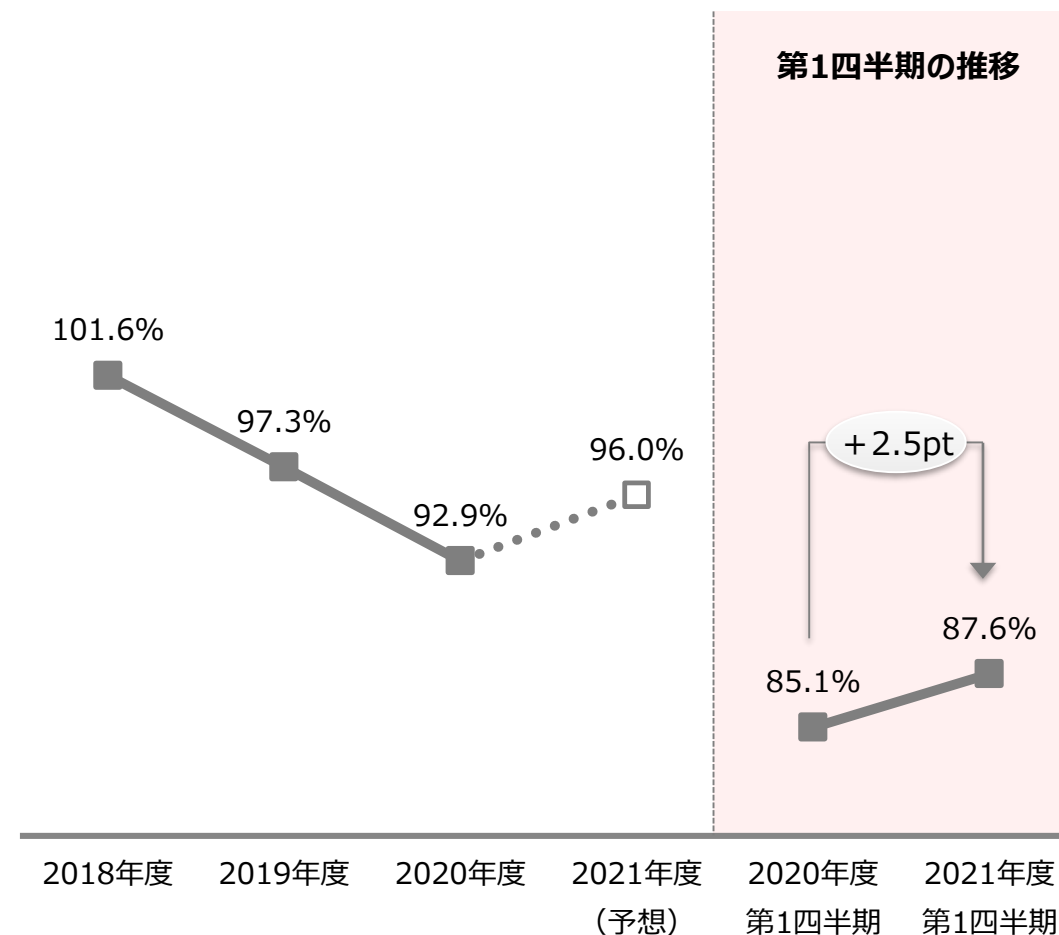
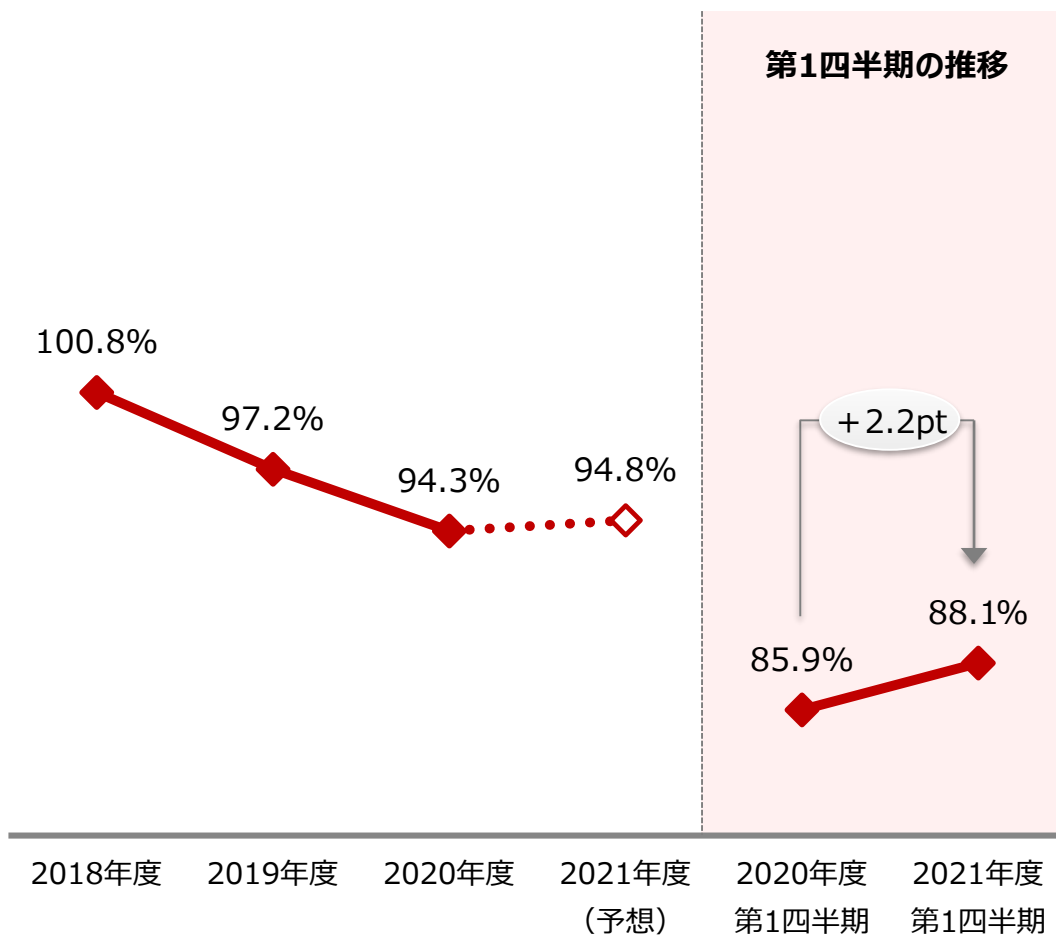
※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

コンバインド・レシオ

- コンバインド・レシオは対前年で悪化するも、概ね計画どおり進捗

コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)

(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)



資産運用損益

- ・ ファンド解約などに伴うネット利配増加を主因に、資産運用粗利益は順調に推移

資産運用粗利益（損保ジャパン）

(単位：億円)		2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減	2021年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	①	197	313	+116	939
利息及び配当金収入※1		282	390	+107	1,249
（うち海外子会社配当金）		11	0	△11	300
有価証券売却損益※1	②	75	15	△60	307
（うち国内株式）		70	12	△58	330
有価証券評価損	③	△11	△20	△9	△30
（うち国内株式）		△3	△20	△17	△20
金融派生商品損益	④	△3	9	+12	△52
その他損益	⑤	△6	19	+25	42
資産運用粗利益（①～⑤計）		252	336	+84	1,207

（参考）政策株式削減額

現物※2	6億円
先物※3	69億円
合計	75億円

※2 時価ベースのネット削減額
(売却時価－購入時価)

2021年度削減目標額は500億円

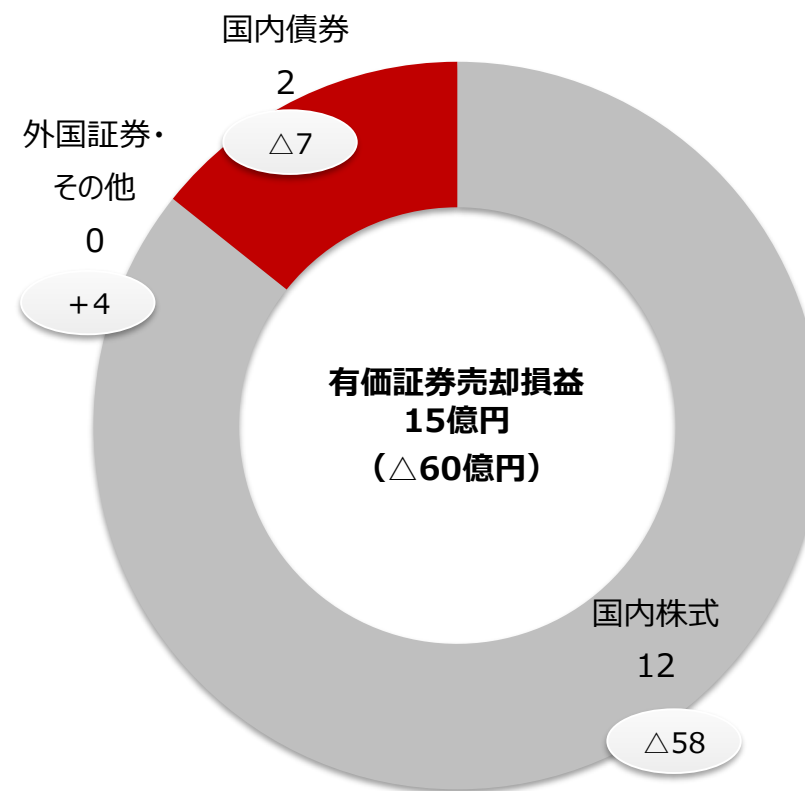
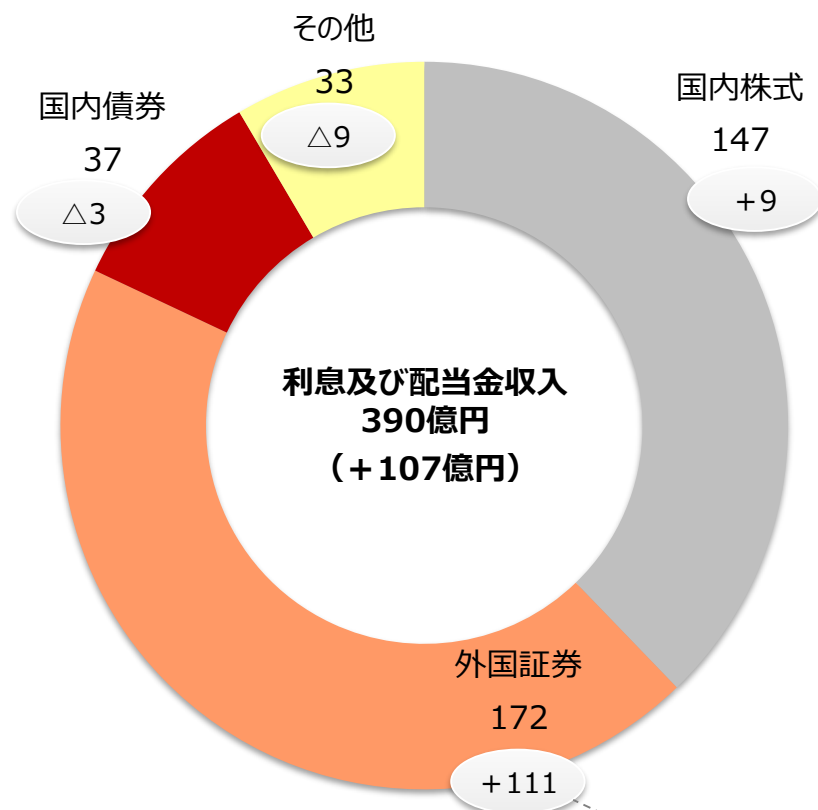
※3 日経平均先物の売建て

※1 内訳は次ページ参照

(参考) 資産運用粗利益の内訳

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳 (2021年度第1四半期)

(億円)



ファンド解約などに伴う利配増加が主因

○ : 2020年度第1四半期対比の増減額

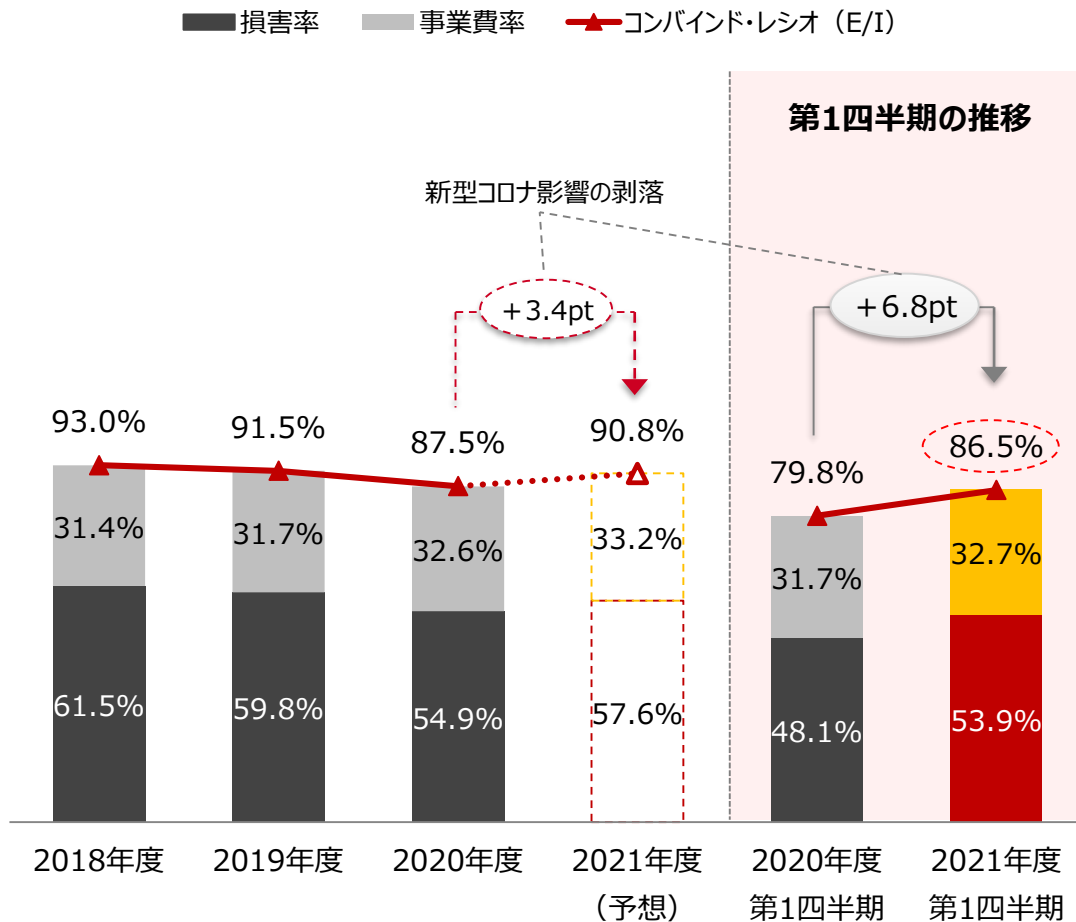
(参考) 2021年度通期業績予想 (損保ジャパン)2021年5月20日
公表数値から修正なし

(単位：億円)	2020年度 (実績)	2021年度 (予想)	増減
正味収入保険料	21,414	21,600	+185 (+0.9%)
(除く自賠責・家計地震)	19,034	19,293	+259 (+1.4%)
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	18,857	19,262	+405 (+2.1%)
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	59.9%	59.8%	△0.1pt
正味損害率	60.8%	64.6%	+3.8pt
(除く自賠責・家計地震)	58.4%	61.0%	+2.6pt
正味事業費率	33.6%	34.3%	+0.6pt
(除く自賠責・家計地震)	34.5%	35.0%	+0.6pt
コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)	94.3%	94.8%	+0.5pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	92.9%	96.0%	+3.1pt
保険引受利益	663	715	+51 (+7.7%)
資産運用粗利益	1,464	1,207	△256 (△17.5%)
経常利益	1,974	1,745	△229 (△11.6%)
当期純利益	1,469	1,330	△139 (△9.5%)
(参考) 修正利益			
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+262	+195	△67
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+28	+29	+0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△435	△200	+235
特殊要因 (税引後) ※	△44	△281	△237
修正利益	1,281	1,073	△208

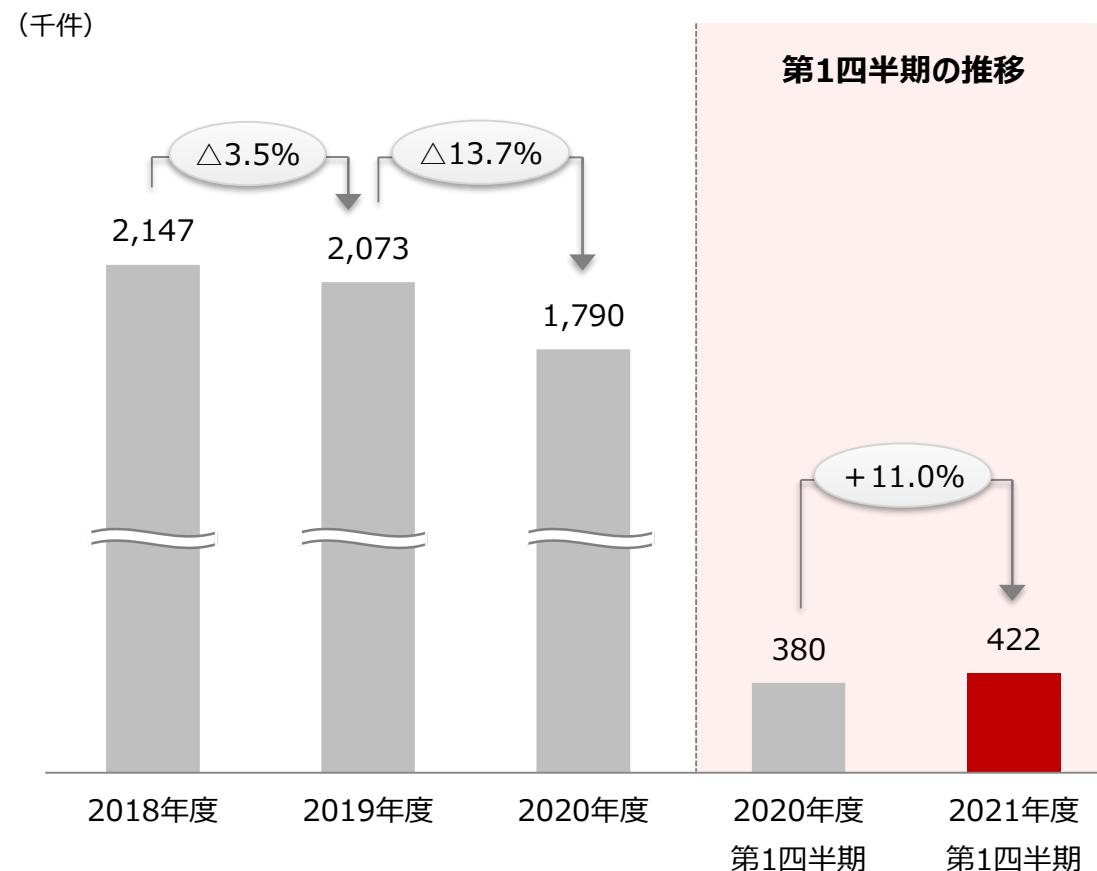
※ グループ会社配当など

(参考) 自動車保険関連の指標

コンバインド・レシオ (E/I) の推移



事故受付件数の推移



(参考) 国内自然災害**国内自然災害（当年度発生）に係る正味支払保険金（除く自賠責・家計地震）※**

(単位：億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減
火災	14	0	△13
海上	-	-	-
傷害	0	0	+0
自動車	0	-	△0
その他	0	0	△0
合計	15	0	△14

※ 通期業績予想における国内自然災害正味発生損害額（見込）は840億円
 第1四半期決算では支払備金を簡便法で算出、国内自然災害に係る発生損害額を集計していない

(参考) 責任準備金・支払備金**責任準備金・支払備金 (2021年度第1四半期)**

(単位：億円)

	普通責任準備金 ^{※1}		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災 ^{※2}	7,703	△49	1,072	+36	1,191	△232
海上	170	△29	444	+3	226	+11
傷害	1,372	+98	779	+15	453	+5
自動車	3,261	+57	800	+89	3,702	△9
自賠償 ^{※2}	4,612	△8	-	-	626	-
その他	3,641	+180	2,020	+32	2,346	+47
合計	20,761	+249	5,117	+177	8,546	△177
合計 (除く自賠償・家計地震)	16,112	+257	5,117	+177	7,920	△156
	残高	積増額				積増額
長期性資産 ^{※3}	11,270	△114			外貨建支払備金の為替影響	△0

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠償保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

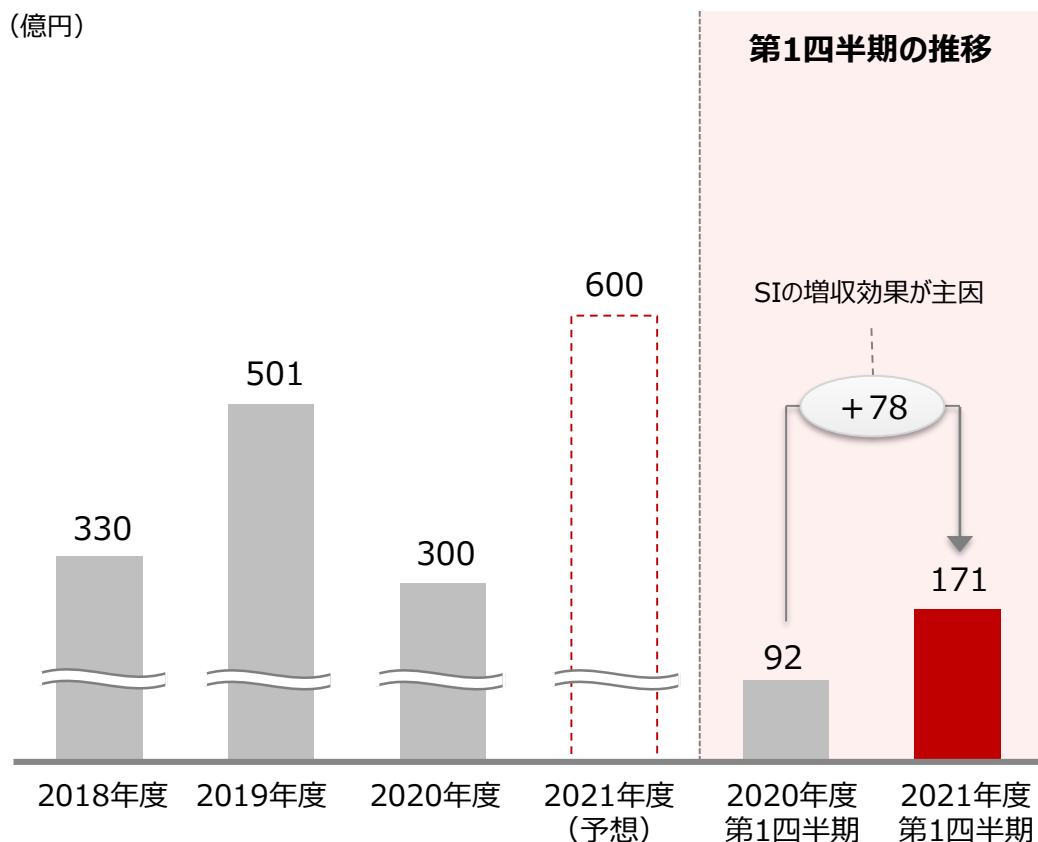
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

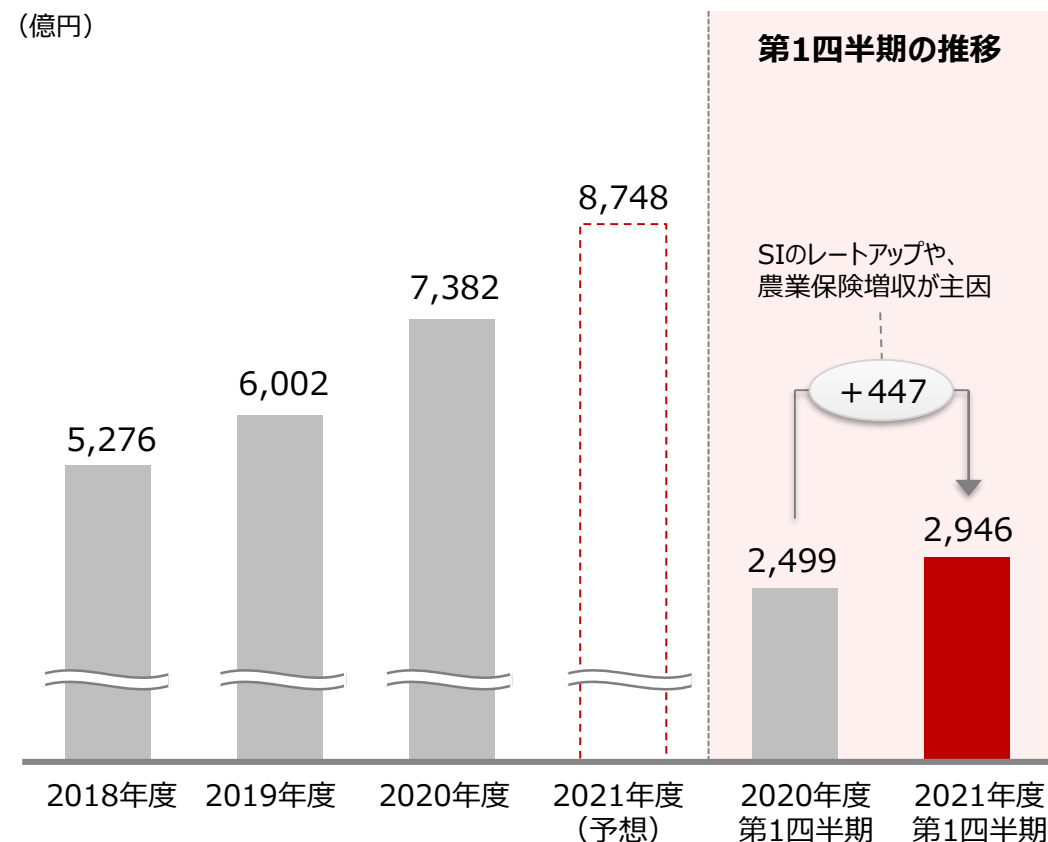
業績概況（海外保険事業）

- SIの計画を上回るレートアップやDiversified社の統合効果などを主因に、海外保険事業のトップラインは+447億円増収
- SIの増収効果に加え、運用収益の改善なども寄与し、海外保険事業の修正利益は+78億円増益の171億円

修正利益※



(参考) 収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

(参考) 地域別業績

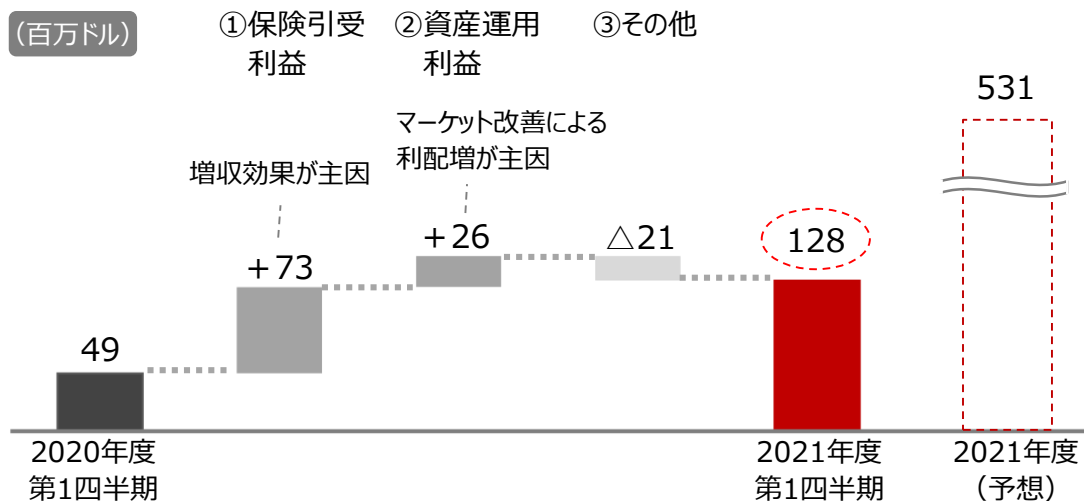
(単位：億円)		収入保険料			修正利益			2021年度第1四半期決算のポイント	(参考) 為替レート	
		2021年度 第1四半期		2021年度	2021年度 第1四半期		2021年度		2021年3月※2 (対前年為替影響)	
		実績	増減	予想	実績	増減	予想			
欧米	SI	2,683	+518	7,414	141	+88	588	P31、P32ご参照	110.71 円/米ドル	(+1.7%)
中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	56	△30	293	14	△6	42	トップラインは、自動車保険の競争激化により減収。 修正利益は、自動車保険などの事故増加や為替影響を 主因に減益	13.27 円/リラ	(△19.7%)
アジア	ベルジャヤソンポ (マレーシア) 等	104	+8	476	21	+7	51	トップラインは、概ね順調に推移。 修正利益はベルジャヤソンポの損害率改善を主因に増益	-	-
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	91	△51	499	△7	+0	△17	トップラインは、引受方針変更と再保険戦略見直しにより 減収。修正利益は、自動車保険の事故増加などもあり、 概ね前年度並み	19.17 円/リアル	(△8.5%)
非連結※1		10	+2	65	1	△0	△0	-	-	-
合計		2,946	+447	8,748	171	+78	600	-	-	-

※1 Sompoタイランド、PGAソンポ（フィリピン）、ユナイテッドインシュアランス（ベトナム）の合計

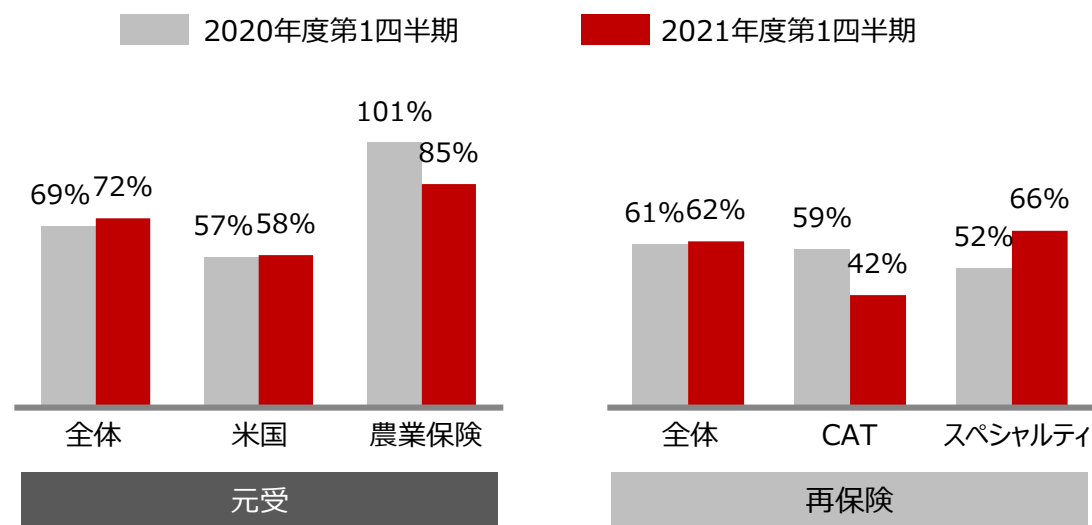
※2 通期業績予想における前提為替レートは2021年3月末時点を使用

(参考) SI業績概況①

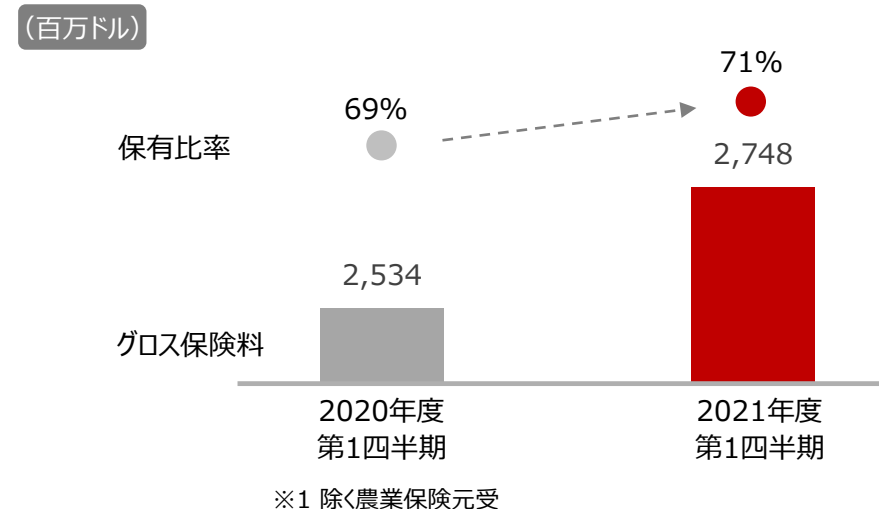
修正利益の増減要因



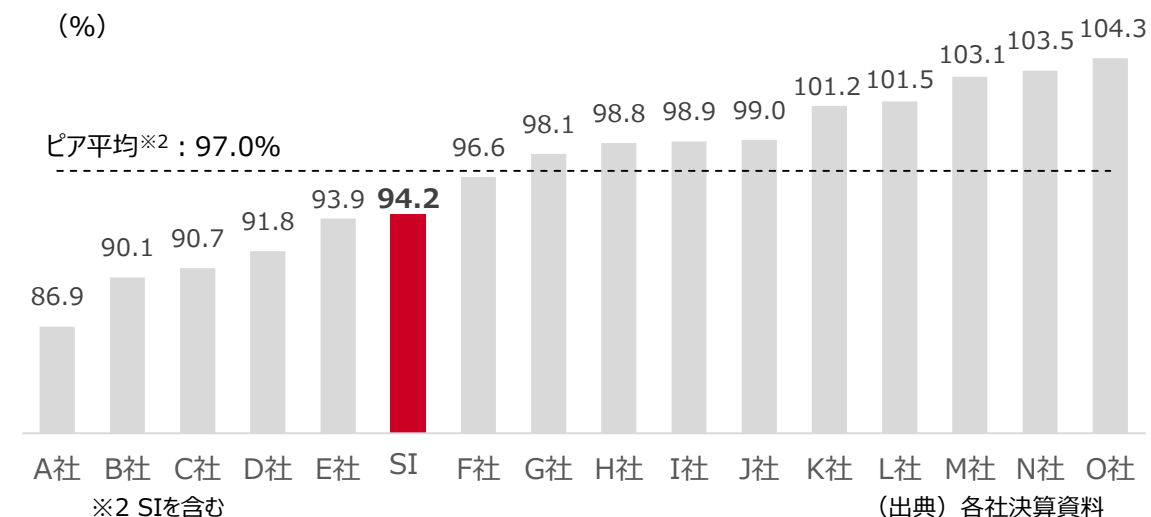
主要セグメント別損害率



グロス保険料と保有比率※1



(参考) ピア比較 (コンバインド・レシオ、2021年度第1四半期)



(参考) SI業績概況②

	(百万ドル)		2020年度 通期		2021年度 第1四半期		2021年度 通期		
			(実績)	(実績)	対前年増減	(予想)	対前年増減		
グロス保険料			9,354	4,279	+1,217 (+39.7%)	10,312	+957	▶ レートアップおよび農業保険の増収 (Diversified社統合効果や 農産物価格上昇影響) が主因	
正味保険料			5,882	2,424	+434 (+21.9%)	6,696	+814		
既経過保険料			4,642	1,404	+464 (+49.3%)	6,315	+1,673		
発生保険金			3,326	936	+327 (+53.8%)	4,102	+776		
事業費			1,212	386	+97 (+33.9%)	1,686	+474		
損害率※1			71.7%	66.7%	+1.9pt	65.0%	△6.7pt	▶ テキサス寒波が主因	
事業費率※1			26.1%	27.5%	△3.2pt	26.7%	+0.6pt		
コンバインド・レシオ※1			97.8%	94.2%	△1.2pt	91.7%	△6.1pt		
保険引受利益			58	84	+73 (+675.7%)	518	+459		
資産運用利益			245	89	+26 (+41.7%)	249	+4		
その他損益			43	△135	+96	△123	△166	▶ 前年度の有価証券未実現損の反動 (連結消去) や為替差益が主因	
当期純利益			285	35	+181	531	+245		
(参考) 為替損益			+32	△20	△36	-	-		
修正利益									
有価証券売却・減損損失等※2			△154	+132	△65	-	-		
税効果			+18	△18	△0	-	-		
修正利益			182	128	+78 (+160.4%)	531	+349		

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料
 ※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング (季節性イメージ)
 1Q : 10~15% 2Q : 25~30% 3Q : 30~35% 4Q : 25~30%

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

業績概況（ひまわり生命）

- 保障性商品の保有契約増加等により、修正利益は+15億円増益の94億円
- Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大

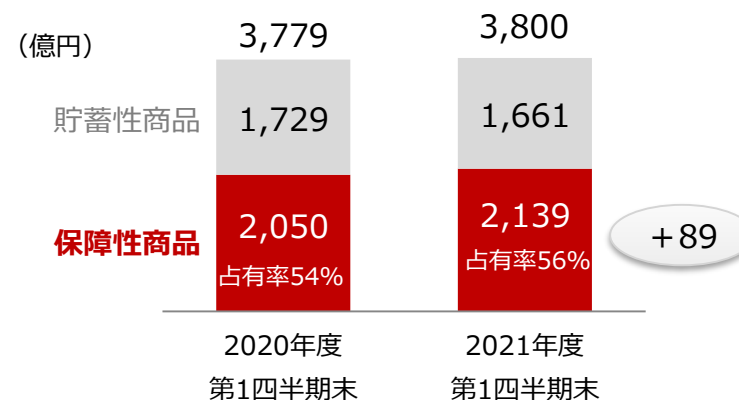
主要業績

(単位：億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減		2021年度 (予想)
新契約年換算保険料	42	65	+22	(+53.8%)	401
保険料等収入※1	1,046	1,051	+5	(+0.5%)	4,595
責任準備金繰入等※2	680	664	△16	(△2.4%)	3,015
保険金等支払	186	189	+3	(+1.7%)	780
事業費	194	223	+28	(+14.8%)	1,025
資産運用損益	121	124	+3	(+3.1%)	524
（うち一般勘定）	109	120	+11	(+10.0%)	475
基礎利益	88	87	△1	(△1.2%)	211
経常利益※1	82	83	+1	(+1.8%)	201
当期純利益	51	50	△0	(△1.5%)	116
修正利益	79	94	+15	(+19.8%)	325

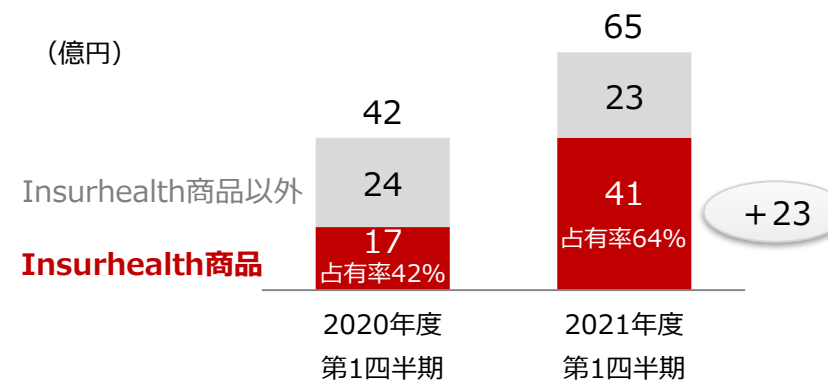
※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

（参考）保有契約年換算保険料の構成



（参考）新契約年換算保険料の構成

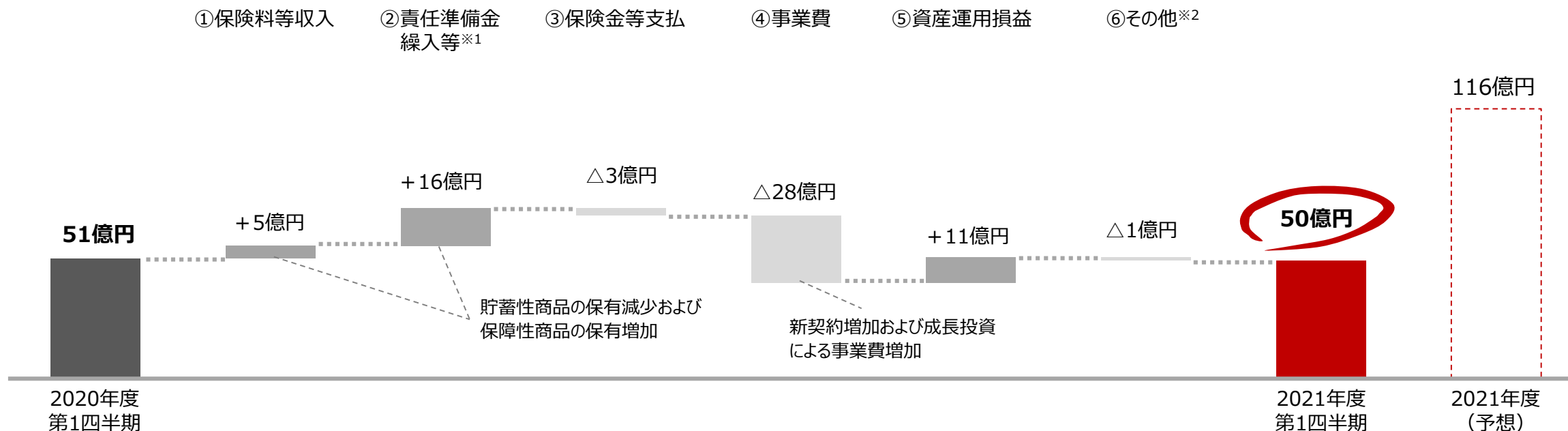


○ : 2020年度第1四半期対比の増減額

当期純利益（ひまわり生命）

- 当期純利益は、保障性商品の保有契約増加の一方で、事業費も増加したため、概ね前年と同水準

当期純利益の増減要因



	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2020年度第1四半期	1,046億円	△680億円	△186億円	△194億円	109億円	△41億円	51億円
2021年度第1四半期	1,051億円	△664億円	△189億円	△223億円	120億円	△43億円	50億円
2021年度(予想)	4,595億円	△3,015億円	△780億円	△1,025億円	475億円	△133億円	116億円

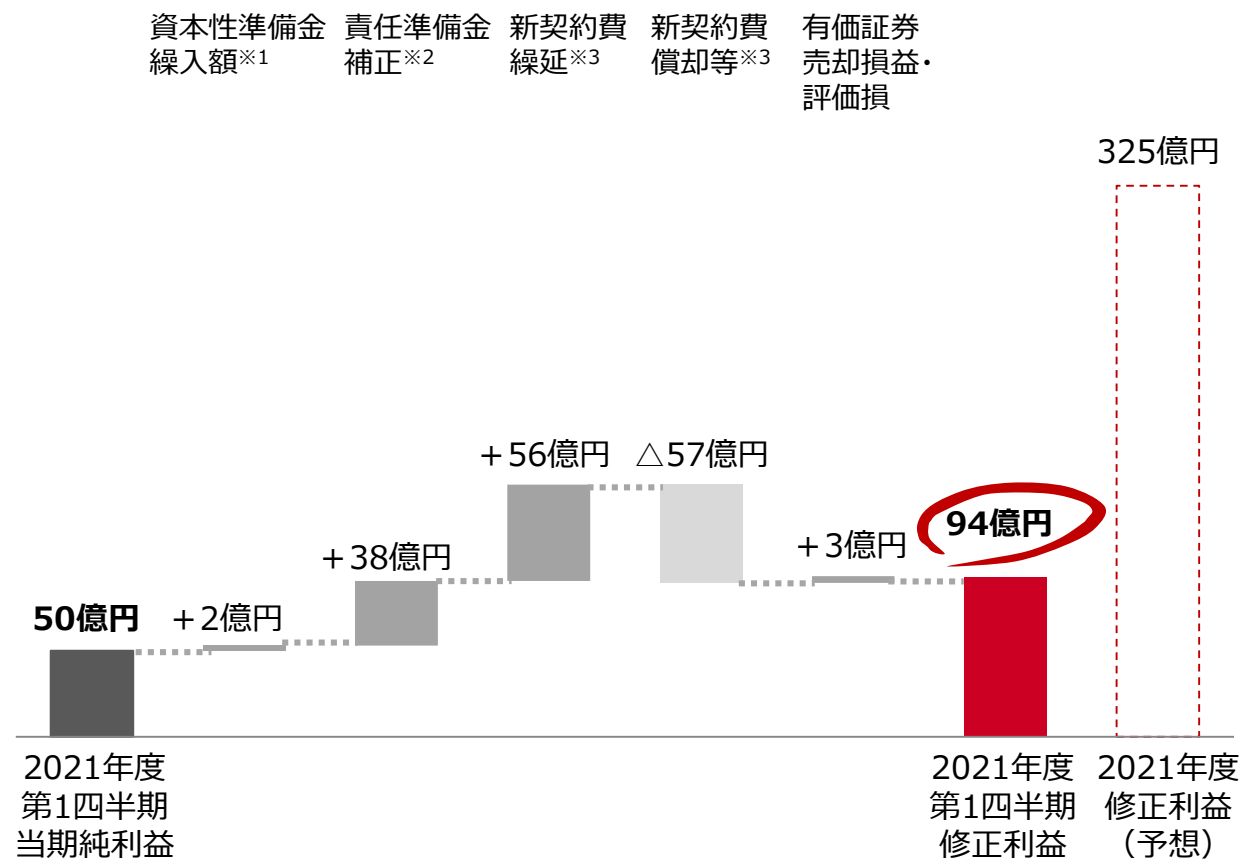
※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※2 その他の経常損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

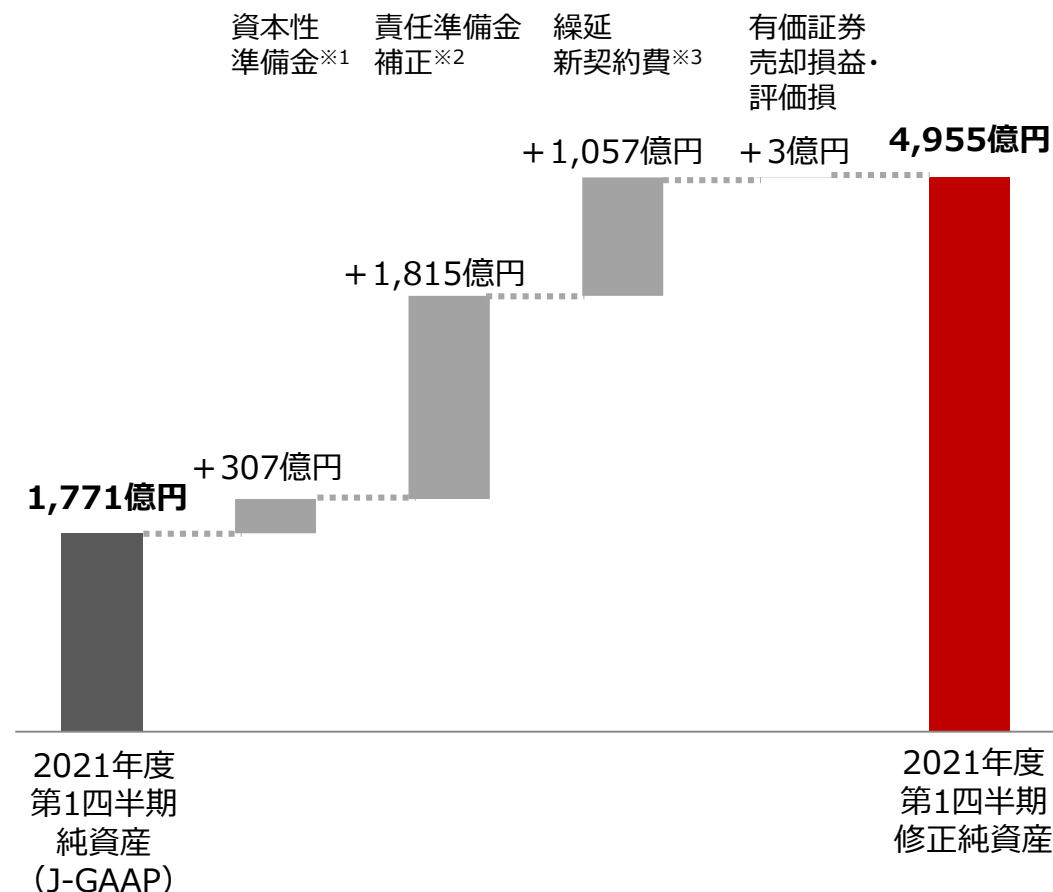
修正利益・修正純資産（ひまわり生命）

- 修正利益は94億円となり、通期業績予想325億円に対する進捗率は29%

当期純利益から修正利益へのコンバージョン



(参考) 修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金（税引後）

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算（税引後）

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却（税引後）

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

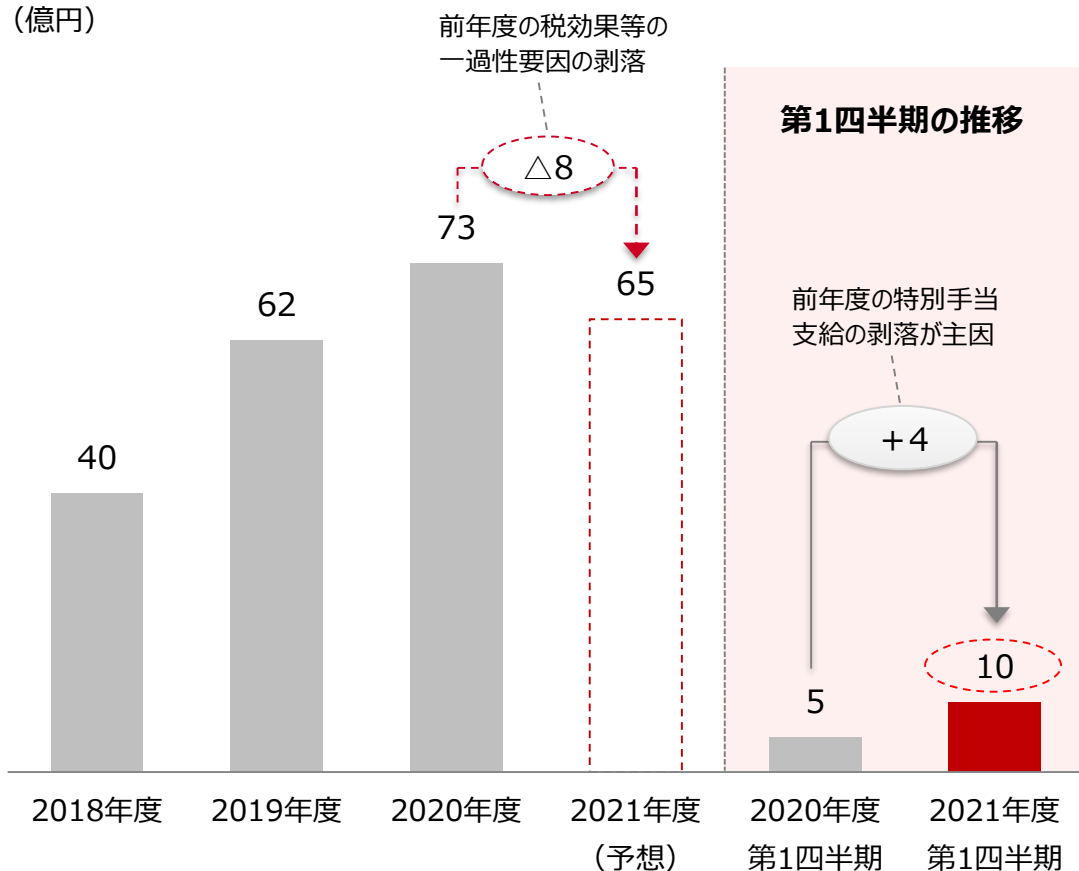
6. ERM・資産運用

業績概況（介護・シニア事業）

- SOMPOケアの修正利益は、前年度の特別手当支給の剥落などにより+4億円増益

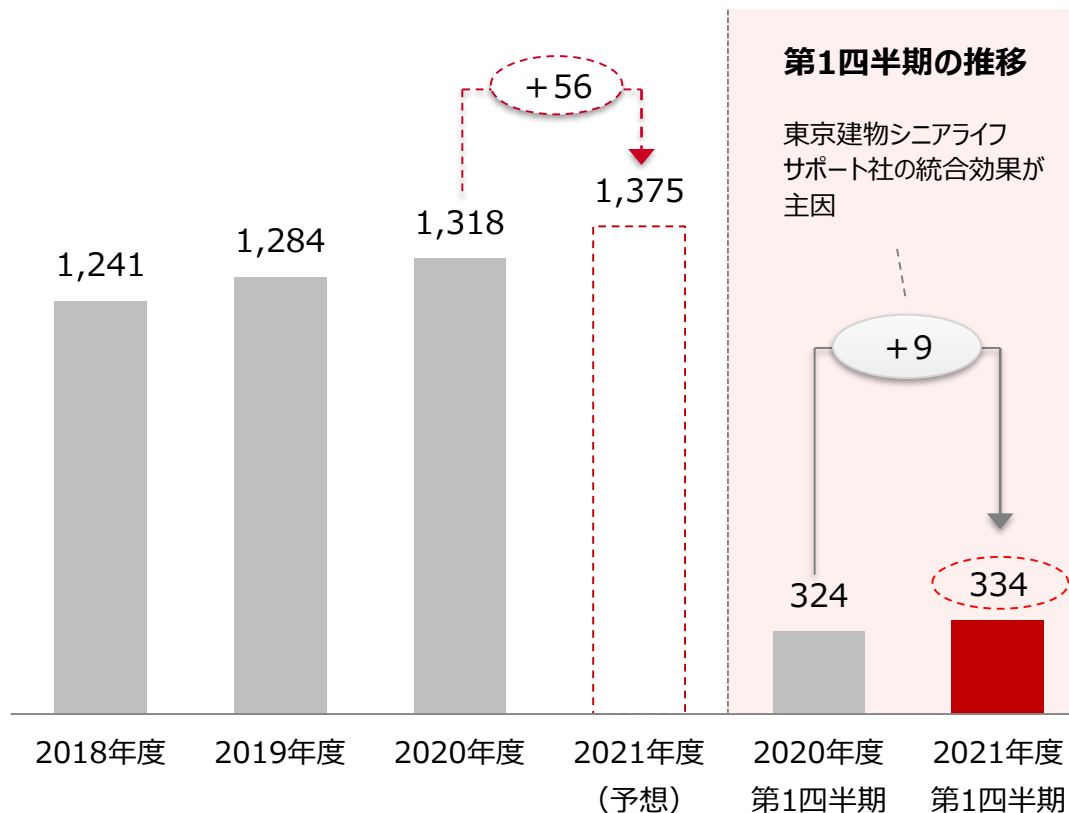
SOMPOケアの修正利益

(億円)



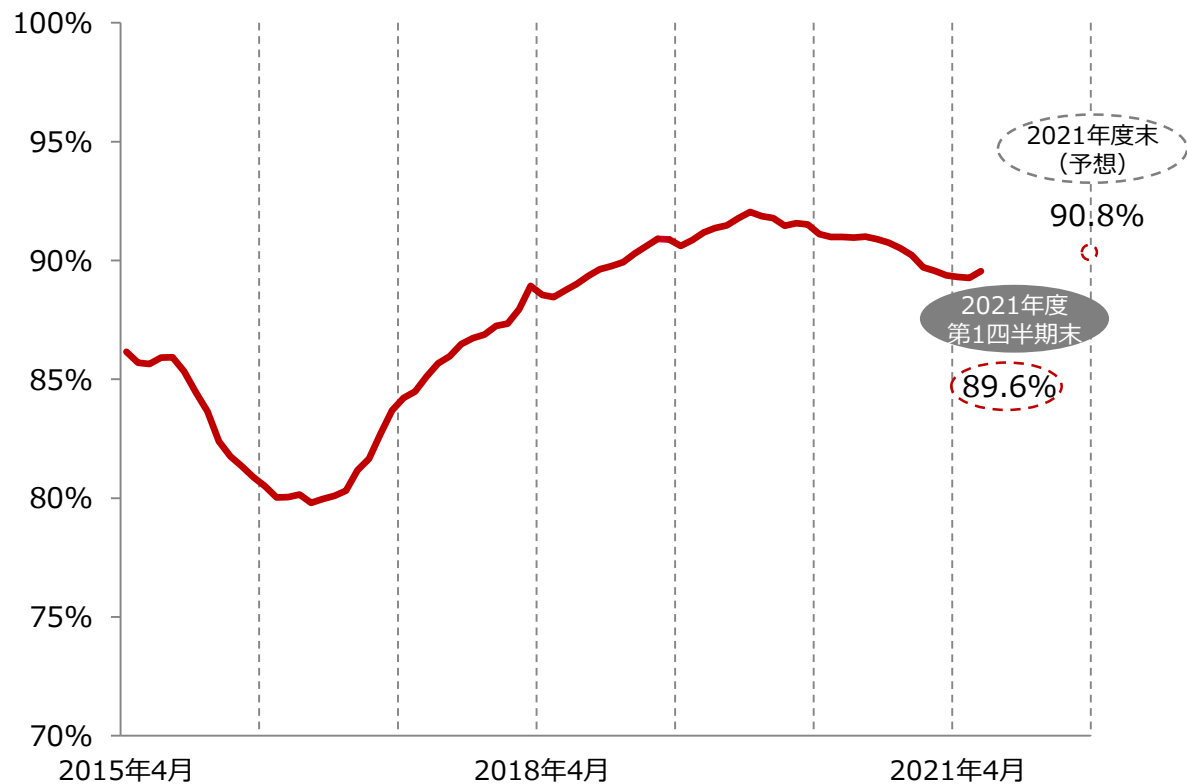
SOMPOケアの売上高

(億円)



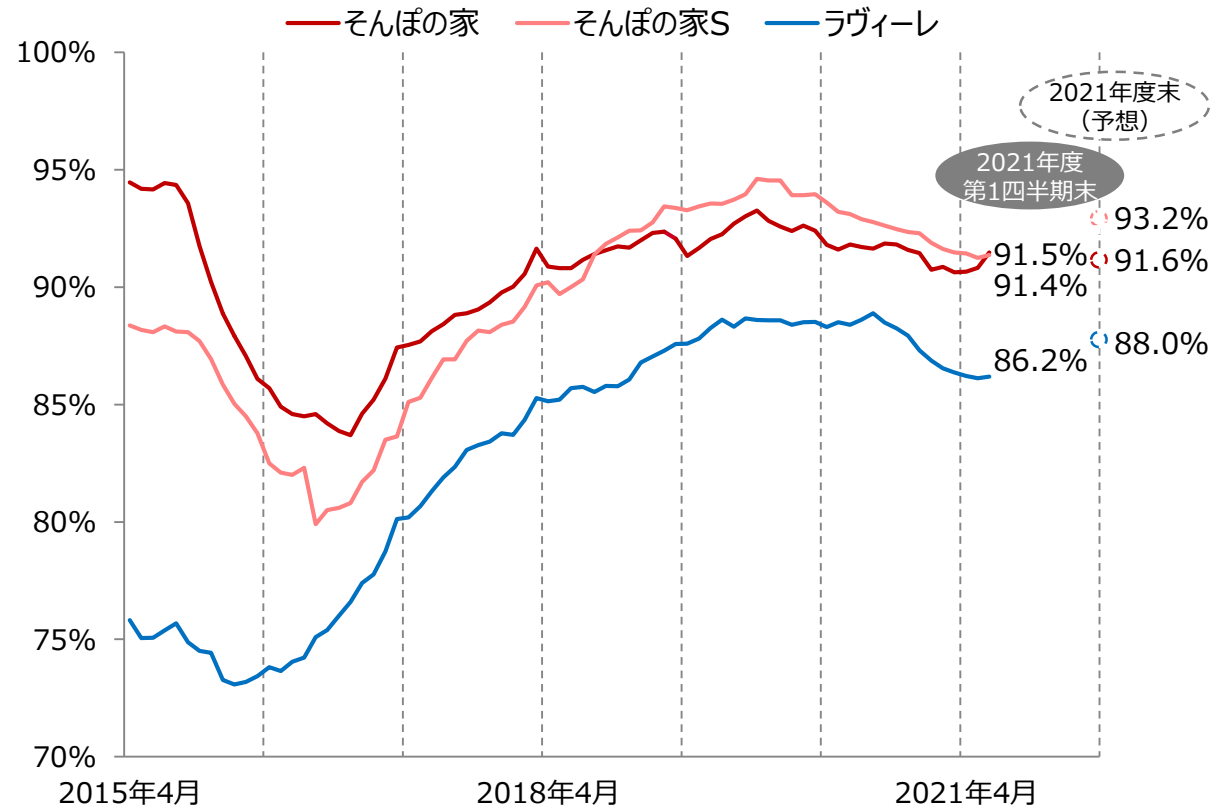
SOMPOケアの主要指標

入居率※1※2の推移



※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 ※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

(参考) ブランド別入居率※3の推移



※3 そんぽの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぽの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

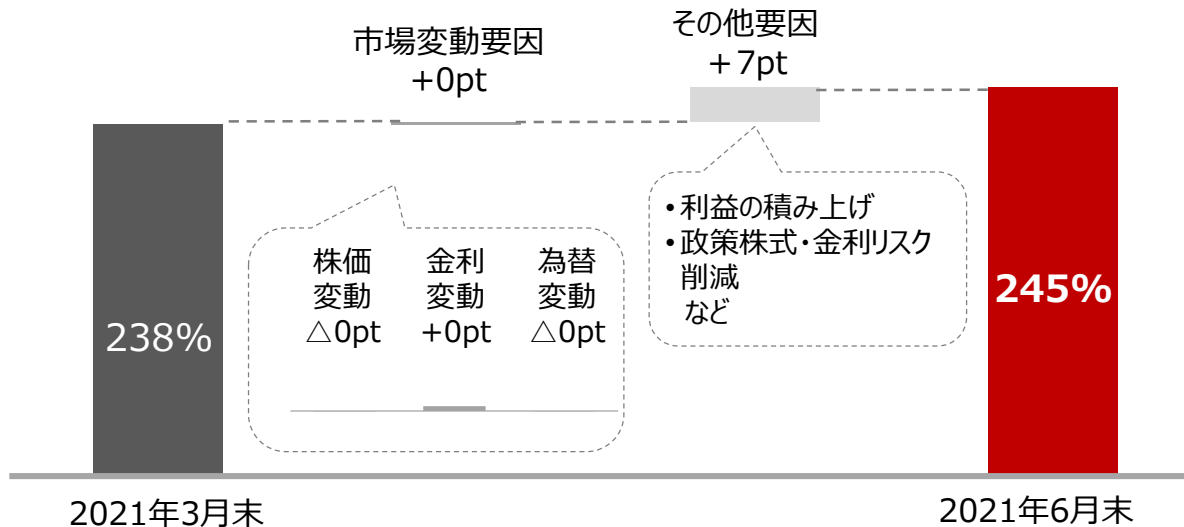
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

財務健全性：ESR（99.5%VaR）

- 2021年6月末のESR（99.5%VaR）は245%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

ESR（99.5%VaR）※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR（99.5%VaR）におけるターゲット資本水準は、200%～270%

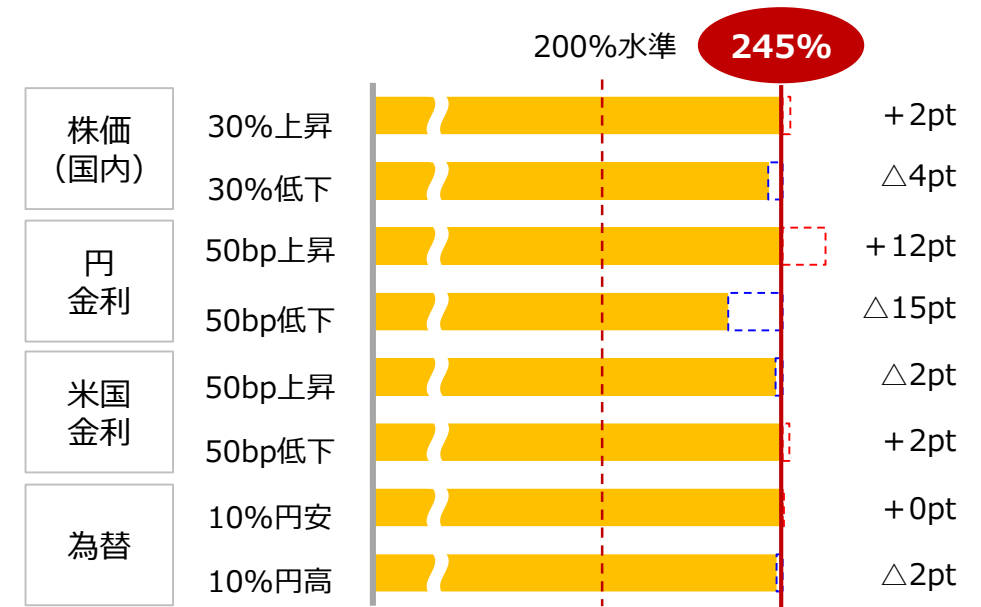
270%水準：資本効率（修正連結ROE）の観点で踏まえた水準

200%水準：ストレステストの結果などを踏まえ、財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【270%超】 追加的リスクテイク（成長投資）の検討、積極的な株主還元の見直しなど
- 【200%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR（99.5%VaR）の感応度分析

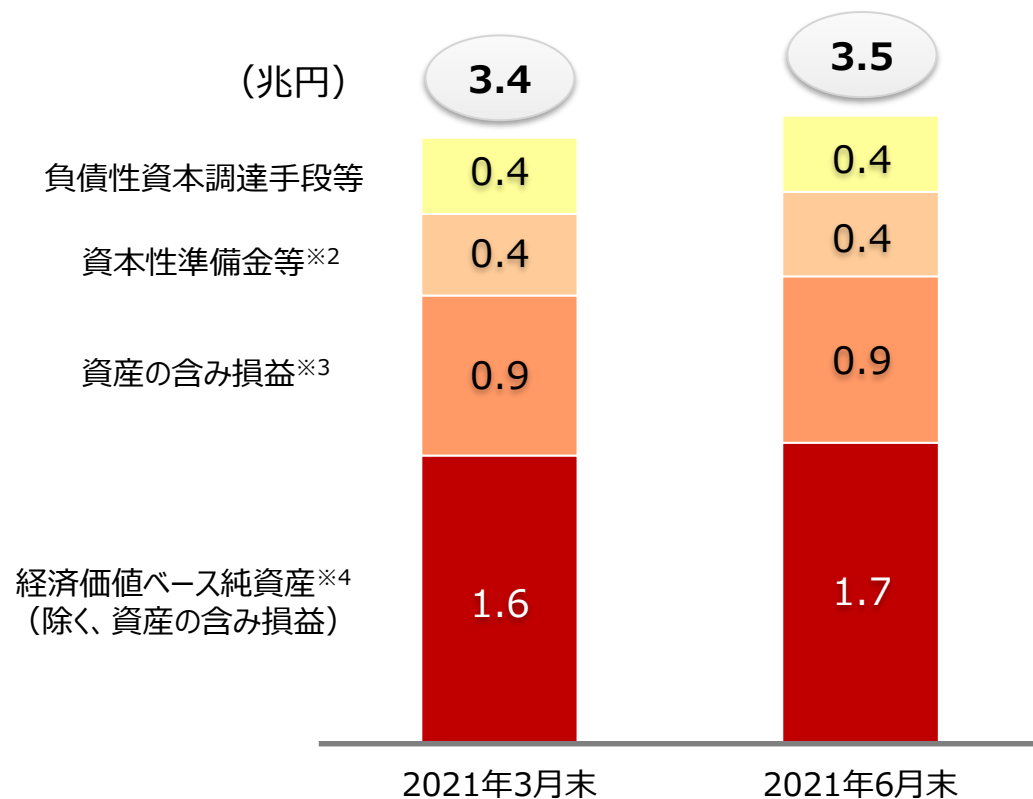


（参考）市場環境	2021年6月末	（増減※2）
国内株価（日経平均株価）	28,791円	（ $\Delta 1.3\%$ ）
国内金利（30年物国債利回り）	0.69%	（+2bp）
米国金利	1.47%	（ $\Delta 27bp$ ）
為替（米ドル円レート）	110.58円	（ $\Delta 0.1\%$ ）

※2 2021年3月末対比

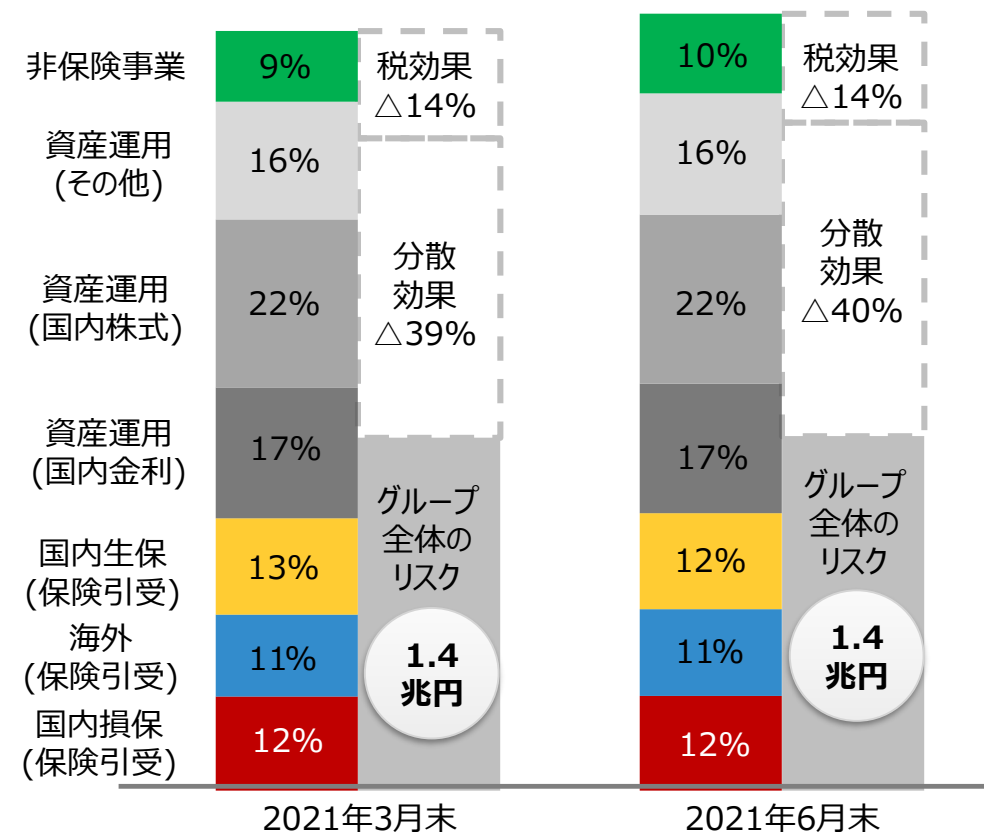
(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 +
時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

リスク量※5

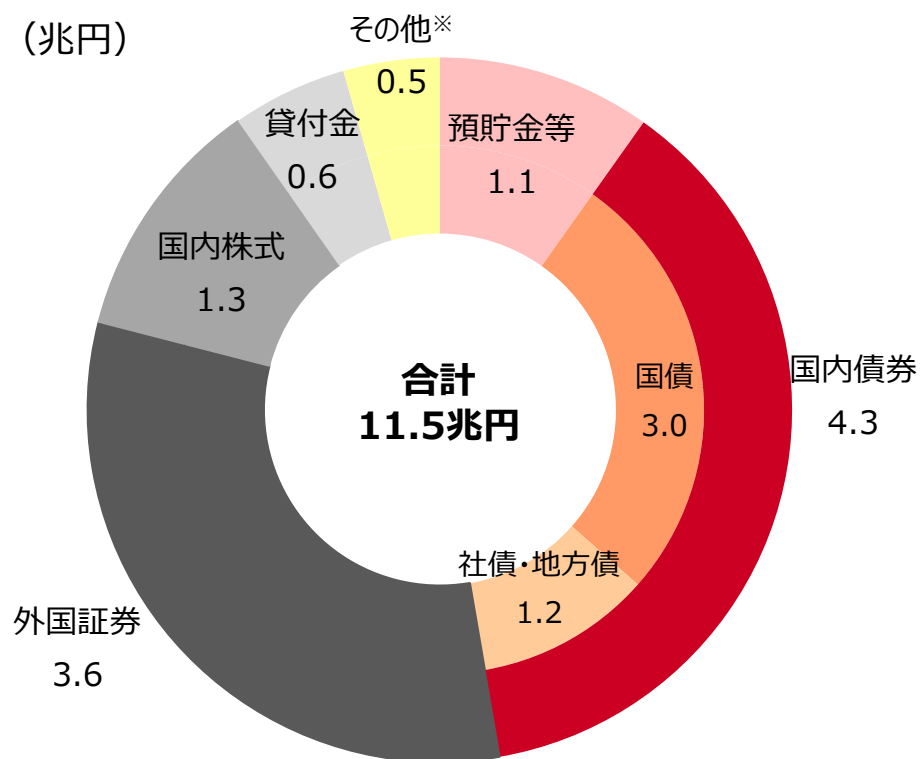


- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）

- 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額（2021年6月末、グループ連結ベース）



※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

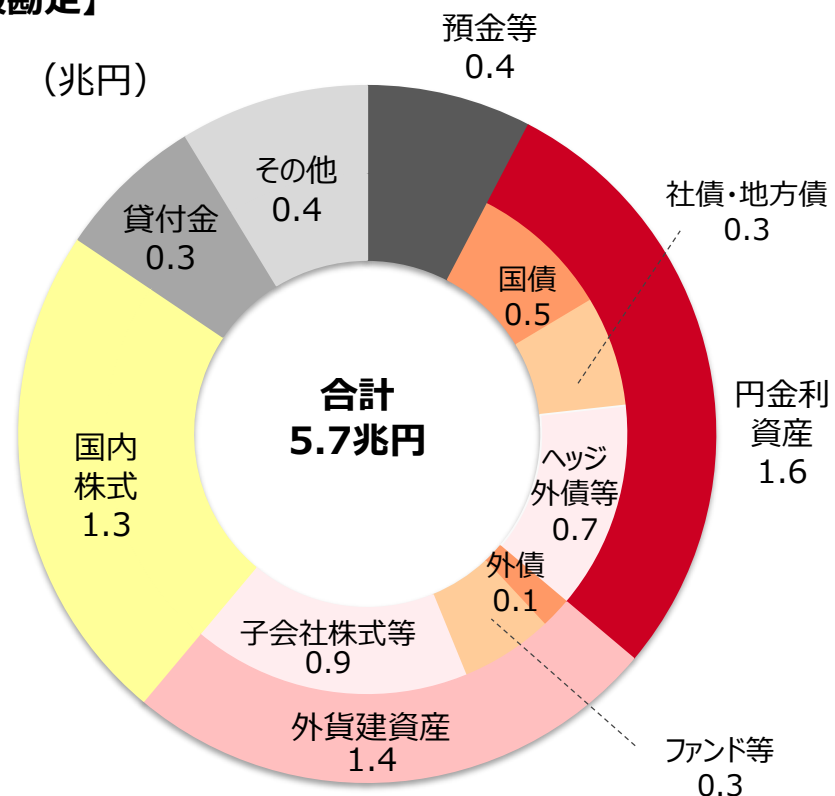
	運用資産額	構成比
損保ジャパン	55,234	47.8%
海外グループ会社	17,589	15.2%
ひまわり生命（一般勘定）	37,515	32.5%
セゾン自動車火災	660	0.6%
国内その他	4,570	4.0%
合計	115,569	100%

資産ポートフォリオ（損保ジャパン）

- 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

運用資産額（2021年6月末、損保ジャパン単体ベース）

【一般勘定】



インカム利回り（一般勘定）※1の推移



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年6月末
資産	8.2	7.9
負債	8.3	8.1

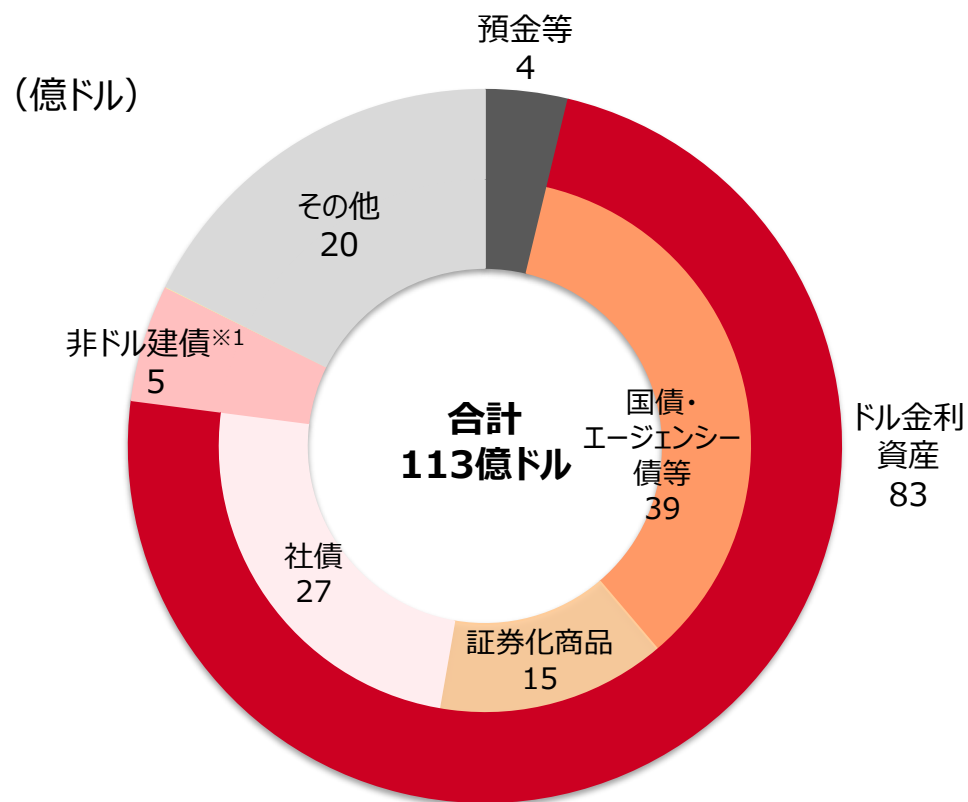
※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

資産ポートフォリオ (SI)

- ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額 (2021年3月末、SI連結ベース)



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	90%
BB格以下	10%

デュレーション (年)

	2020年 12月末	2021年 3月末
資産	2.9	3.2
負債	3.4	3.1

(参考) 2021年3月末のインカム利回り (一部ファンドの未実現損益等の変動を含む) は2.63%

※1 一部預金含む

※2 債券資産の合計

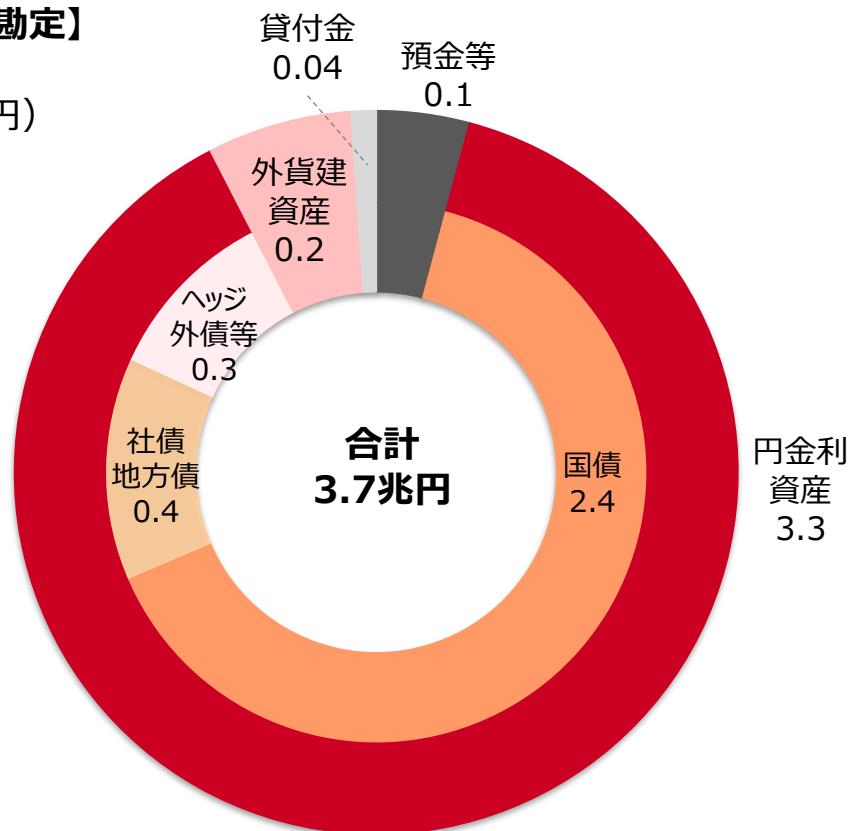
資産ポートフォリオ（ひまわり生命）

- 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等へも配分

運用資産額（2021年6月末、ひまわり生命単体ベース）

【一般勘定】

(兆円)



(参考) 2021年6月末の特別勘定の残高：249億円（主に国内株式・債券で運用）

インカム利回り（一般勘定）の推移



格付別構成比※

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年6月末
資産	15	16
負債	26	26

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

I R室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>